

# 寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」 後期基本計画の振り返り

(令和元年度時点)

## 目次

I	はじめに	3
II	町総合計画後期基本計画の体系と行政評価の考え方	4
III	寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」後期基本計画の状況	
	1. 「計画期間における目標指標」の達成状況	6
	2. 町民アンケート調査結果による住民満足度の状況	7
	3. 各施策における計画事業費の状況	8
	4. 各施策における総合評価の状況	10
IV	各章ごとの取り組み状況	
	1. 第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	11
	2. 第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり	17
	3. 第3章 安心して生きがいのあるまちづくり	21
	4. 第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	30
	5. 第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	35
	6. 後期基本計画推進のための基本姿勢	38
	7. 6つの重点プロジェクトの実施状況	41
V	振り返り結果を踏まえた次期総合計画策定に向けた方向性	
	1. 後期基本計画の振り返り結果の概要	46
	2. 次期総合計画策定に向けて	49
VI	参考資料	50

## I はじめに

寒川町では、昭和 45 年（1970 年）に最初の総合計画を策定してから平成 8 年度策定の「寒川町総合計画」まで通算 4 回にわたり総合計画を策定し、それぞれの時代背景や町の現状を踏まえて計画的なまちづくりを進めてきました。

そして、平成 14 年度には、少子高齢化の進行や環境問題の拡大、高度情報化社会の到来など、社会経済環境の著しい変化による様々な課題への対応を目的として、平成 32 年度（令和 2 年度）までを計画期間とする、「さむかわ 2020 プラン」を策定しました。

平成 24 年度には、以降の 9 年間で展望し、本町の特長を最大限生かした実効性ある計画行政を進めるため、「さむかわ 2020 プラン」の基本構想を改訂、また、新たに後期基本計画及び、以降 3 次にわたる実施計画を策定し、現在に至るまで施策評価（H26・H29 年度実施）や事務事業評価を行いながら、基本構想に定めた将来都市像の実現に向けた取り組みを進めてきたところです。

この後期基本計画については、その計画期間を平成 32 年度（令和 2 年度）までとしており、今後の寒川町の行政運営を計画的かつ継続的に進めるために、計画期間終了後の次期総合計画を策定することとしています。

この次期総合計画の策定にあたり、後期基本計画に定めた各施策（38 施策＋3 項目）の取り組み状況を振り返り現状の評価を行うとともに、次期総合計画策定のための材料とすることを目的に評価を行い、その結果を取りまとめました。

なお、評価の実施にあたり、後期基本計画については平成 26 年度施策評価で第 1 次実施計画（H24～H26）の評価を、また平成 29 年度施策評価で第 2 次実施計画（H27～H29）の評価を行っています。このことから、今回の評価では、平成 29 年度施策評価の内容を更新する形で実施し、また、実績に基づく振り返り作業を行っていない平成 29 年度以降の取り組み内容を中心に評価を行うこととします。

※各施策における具体的な評価内容については、別添の『令和元年度寒川町総合計画 後期基本計画施策進行管理・評価シート』をご参照ください。

## Ⅱ 町総合計画後期基本計画の体系と行政評価の考え方

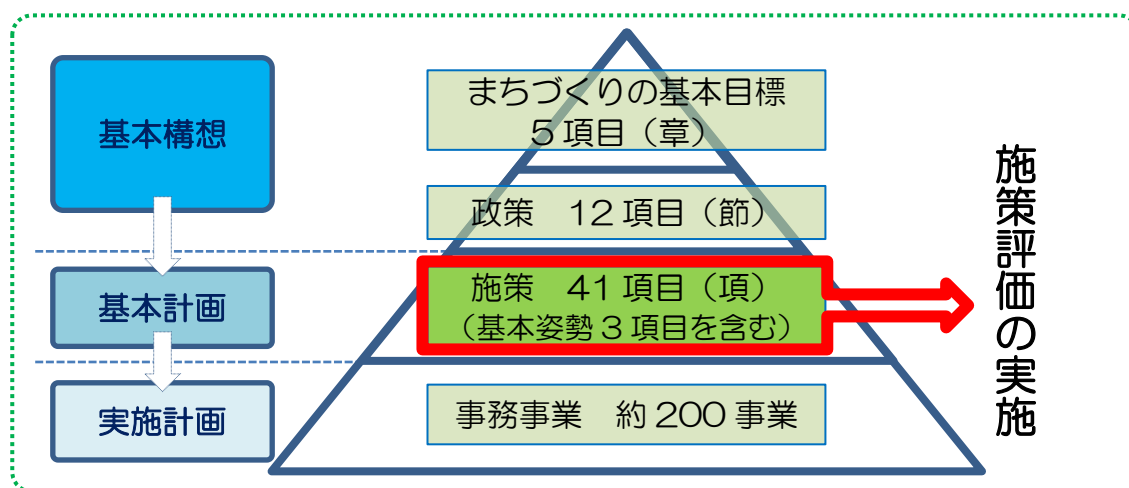
町総合計画「さむかわ 2020 プラン」後期基本計画は、5つのまちづくりの「基本目標(章)」、基本目標を実現するための基本方向を示した12項目の「政策(節)」、政策を実現するための方策を示した38項目の「施策(項)」(このほかに、後期基本計画推進の「基本姿勢」として3項目があります)、施策の実現のための手段である約200項目の「事務事業」を体系化しています。

後期基本計画の推進にあたっては、「事務事業」に設定された目標指標により事業進捗度の確認を行う「事務事業評価」と、事務事業を取りまとめた「施策」について、その目標指標により施策進捗度の確認を行う「施策評価」により進行管理を行っています。

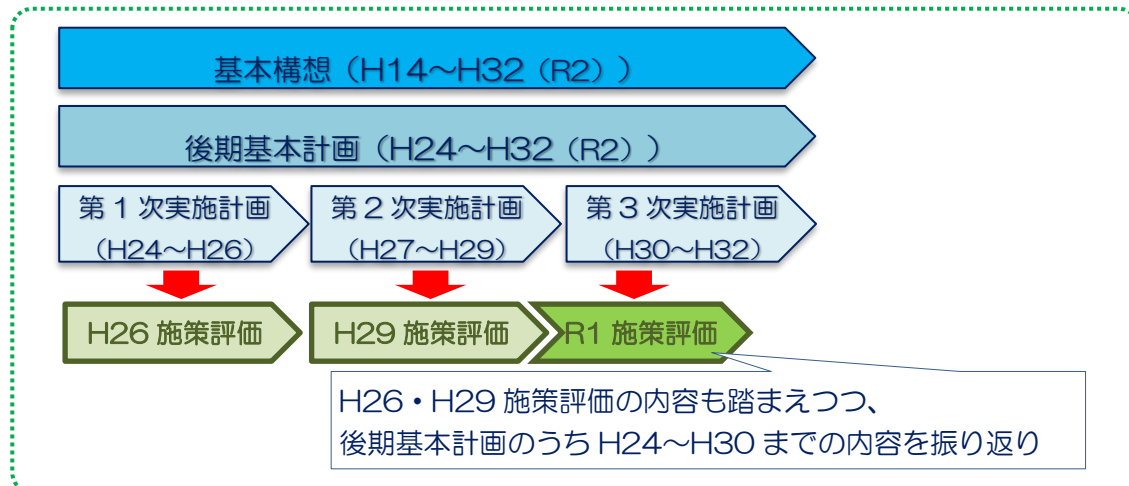
今回実施した「施策評価」は、各施策内の事務事業を横断的に評価することにより施策推進に対する課題や改善点の把握及び施策の進行管理を主な目的として実施したもので、現行総合計画「さむかわ 2020 プラン」の振り返りの材料とするとともに、令和3年度以降を計画期間とする次期総合計画の策定ツールの一つとするものです。

今回の評価の実施にあたっては、各施策責任者のもとに、平成29年度に実施した施策評価の内容を更新する形で行い、各施策の取り組み成果を客観的・定量的に測るために設定した「目標指標」の実績値、町民アンケート調査による満足度を活用して行いました。

### 【さむかわ2020プラン後期基本計画体系イメージ】



### 【さむかわ2020プラン後期基本計画振り返り作業のイメージ】



【さむかわ2020プラン後期基本計画の政策・施策体系】

章 (まちづくりの基本目標)	節 (施策の目標：政策)	【参考】 政策分野の イメージ	項 (施策)
0 基本姿勢	0 基本姿勢	行政運営	1 町民との協働によるまちづくりの推進 2 広域行政によるまちづくり 3 地方分権の推進と自律的な行政運営
1 快適でにぎわいのある まちづくり	1 連携を考えた交通環境の 整備を進めます	交通環境	1 道路網の整備 2 公共交通網の整備
	2 快適な生活環境の整備を 進めます	生活環境	1 公園・緑地等の整備 2 下水道・河川の整備 3 環境美化の推進 4 住環境の向上
	3 魅力ある市街地の整備を 進めます	市街地	1 土地利用の適正化 2 市街地整備の推進
2 環境と共生した うるおいのあるまちづくり	1 水とみどりの保全と活用 を進めます	水と緑	1 緑化の推進
	2 環境にやさしいまちづく りを進めます	環境	1 環境共生の推進 2 公害の防止 3 資源の有効活用の推進 4 廃棄物の適正処理
3 安心で生きがいのある まちづくり	1 明るく生きがいのある健 康づくりを進めます	健康づくり	1 健康づくりの充実 2 医療体制・保健衛生の充実
	2 心のかよいあう福祉を充 実します	福祉	1 地域福祉の充実 2 高齢者福祉の充実 3 子育て支援の充実 4 障がい福祉の充実 5 社会保障制度の推進
	3 安心して暮らせるまちづ くりを充実します	安全・安心	1 防災対策の充実 2 消防・救急体制の充実 3 交通安全・防犯対策の充実 4 地域活動の推進 5 町民相談の推進 6 共に支え合う地域社会の実現
4 豊かな心と文化を はぐくむまちづくり	1 ふれあいのある生涯学習 を充実します	生涯学習	1 生涯学習の推進 2 スポーツ・レクリエーション活動の推進
	2 豊かな心をはぐくむ教育 を進めます	教育	1 幼児教育の推進・家庭教育の支援 2 学校教育の推進 3 青少年の育成
	3 地域の文化活動を進めま す	地域文化	1 地域文化の振興 2 地域間交流の推進
5 魅力ある産業と 活力のあるまちづくり	1 まちの特性を生かしたふ るさとの創造を図ります	産業	1 商業の振興
			2 工業の振興
			3 農業の振興
			4 勤労者対策の充実
			5 観光の振興
計：5	計：12		計：41

「さむかわ2020プラン」後期基本計画の体系は、5つの章（基本目標）、12の節（施策の目標：政策とも呼んでいます）、41の項（38の施策と3つの基本姿勢）から成っています。

今回の振り返り作業では、このうち41の項ごとに「施策進行管理・評価シート」を作成し、評価を行いました。また、本取りまとめ資料では、平成24年度から平成30年度までの後期基本計画の振り返りを行うことから、施策横断的な視点での成果や課題の把握を行うため、5つの章及び12の節ごとに項目を取りまとめて掲載しています。なお、12の節（政策）については、上記のとおりそれぞれ大まかな政策分野に当てはめられますので、参考イメージとしてご参照ください。

### Ⅲ 寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」後期基本計画の状況

#### 1. 「計画期間における目標指標」の達成状況

##### ◆目標指標の達成状況【平成 26 年実績値】

章	目標指標達成状況								計	
	100%以上	割合 (%)	80~99%	割合 (%)	50~79%	割合 (%)	50%未満	割合 (%)	目標指標数	割合 (%)
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	11	55.0%	5	25.0%	2	10.0%	2	10.0%	20	100%
第2章 環境と共生したうらおいのあるまちづくり	10	62.5%	4	25.0%	1	6.3%	1	6.3%	16	100%
第3章 安心で生きがいのあるまちづくり	22	51.2%	11	25.6%	9	20.9%	1	2.3%	43	100%
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	5	35.7%	6	42.9%	2	14.3%	1	7.1%	14	100%
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	7	53.8%	3	23.1%	3	23.1%	0	0.0%	13	100%
合計	55	51.9%	29	27.4%	17	16.0%	5	4.7%	106	100%

##### ◆目標指標の達成状況【平成 29 年実績値】

章	目標指標達成状況								計	
	100%以上	割合 (%)	80~99%	割合 (%)	50~79%	割合 (%)	50%未満	割合 (%)	目標指標数	割合 (%)
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	8	40.0%	8	40.0%	1	5.0%	3	15.0%	20	100%
第2章 環境と共生したうらおいのあるまちづくり	7	46.7%	6	40.0%	2	13.3%	0	0.0%	15	100%
第3章 安心で生きがいのあるまちづくり	26	59.1%	9	20.5%	8	18.2%	1	2.3%	44	100%
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	4	28.6%	5	35.7%	2	14.3%	3	21.4%	14	100%
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	5	38.5%	4	30.8%	3	23.1%	1	7.7%	13	100%
合計	50	47.2%	32	30.2%	16	15.1%	8	7.5%	106	100%

##### ◆目標指標の達成状況【平成 32 年（令和 2 年）見込値】

章	目標指標達成状況								計	
	100%以上	割合 (%)	80~99%	割合 (%)	50~79%	割合 (%)	50%未満	割合 (%)	目標指標数	割合 (%)
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	9	45.0%	6	30.0%	4	20.0%	1	5.0%	20	100%
第2章 環境と共生したうらおいのあるまちづくり	8	53.3%	4	26.7%	3	20.0%	0	0.0%	15	100%
第3章 安心で生きがいのあるまちづくり	28	63.6%	7	15.9%	8	18.2%	1	2.3%	44	100%
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	6	42.9%	1	7.1%	5	35.7%	2	14.3%	14	100%
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	7	53.8%	3	23.1%	3	23.1%	0	0.0%	13	100%
合計	58	54.7%	21	19.8%	23	21.7%	4	3.8%	106	100%

後期基本計画では、それぞれの施策ごとの目標を表した施策指標を設定しており、平成 22 年度を基準値として、平成 26 年度、平成 29 年度、平成 32 年度（令和 2 年度）に、それぞれ目標値を設定しています。後期基本計画の進行管理を行うために実施した施策評価において、平成 26 年度実績値、平成 29 年度実績値、平成 32 年度見込み値を取りました。

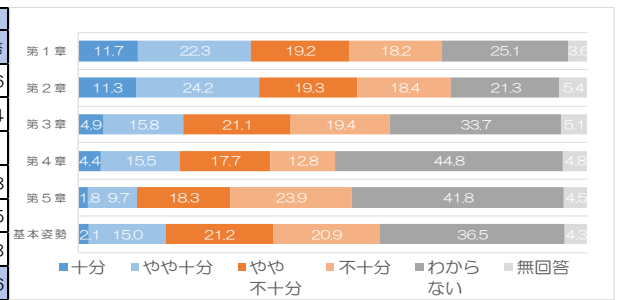
直近の実績である平成 29 年度時点では、全体の 77.4%の指標が目標の 8 割以上の進捗を見せています。一方、平成 32 年度見込みとしては、目標の 8 割以上の達成となる見込みのものが 74.5%となっており、平成 26 年度時点に比べ、進捗度に若干の遅れが見られるほか、目標の 5 割に満たない指標についても 4 指標存在します。

これらの指標（施策）については、次期総合計画の策定に向け、施策の下に位置づく「施策の方向」の見直しや構成事務事業の取捨選択等を行い、中長期的なビジョンである基本構想の達成に向け、効果的な施策・事務事業の構築を行う必要があります。

## 2. 町民アンケート調査結果による住民満足度の状況

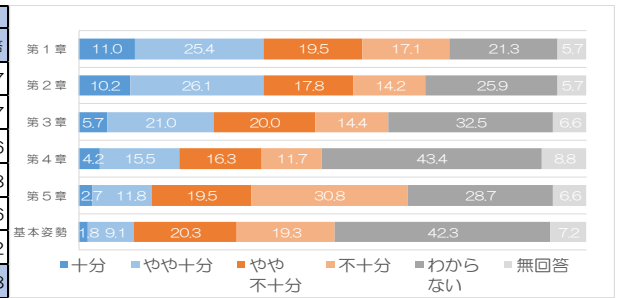
### ◆町民アンケート調査結果【平成 21 年度（後期基本計画策定時調査）】

章	満足度					
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	11.7	22.3	19.2	18.2	25.1	3.6
第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり	11.3	24.2	19.3	18.4	21.3	5.4
第3章 安心して生きがいのあるまちづくり	4.9	15.8	21.1	19.4	33.7	5.1
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	4.4	15.5	17.7	12.8	44.8	4.8
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	1.8	9.7	18.3	23.9	41.8	4.5
後期基本計画推進の基本姿勢	2.1	15.0	21.2	20.9	36.5	4.3
平均	6.0	17.1	19.5	18.9	33.9	4.6



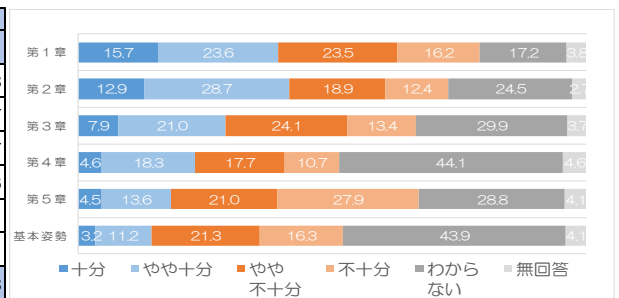
### ◆町民アンケート調査結果【平成 26 年度】

章	満足度					
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	11.0	25.4	19.5	17.1	21.3	5.7
第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり	10.2	26.1	17.8	14.2	25.9	5.7
第3章 安心して生きがいのあるまちづくり	5.7	21.0	20.0	14.4	32.5	6.6
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	4.2	15.5	16.3	11.7	43.4	8.8
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	2.7	11.8	19.5	30.8	28.7	6.6
後期基本計画推進の基本姿勢	1.8	9.1	20.3	19.3	42.3	7.2
平均	5.9	18.1	18.9	17.9	32.3	6.8

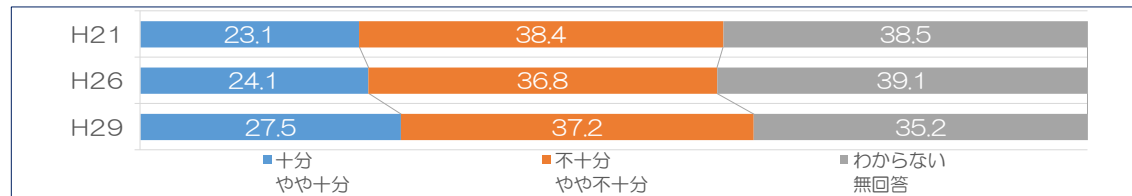


### ◆町民アンケート調査結果【平成 29 年度】

章	満足度					
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり	15.7	23.6	23.5	16.2	17.2	3.8
第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり	12.9	28.7	18.9	12.4	24.5	2.7
第3章 安心して生きがいのあるまちづくり	7.9	21.0	24.1	13.4	29.9	3.7
第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	4.6	18.3	17.7	10.7	44.1	4.6
第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	4.5	13.6	21.0	27.9	28.8	4.1
後期基本計画推進の基本姿勢	3.2	11.2	21.3	16.3	43.9	4.1
平均	8.1	19.4	21.1	16.1	31.4	3.8



### ◆満足度の推移（全体）



平成 29 年度に実施した直近の町民アンケート調査の結果では、「十分・やや十分」の割合が 27.5%、「不十分・やや不十分」の割合が 37.2%、「わからない」の割合が 31.4%という結果でした。まちづくりの目標別では、第 2 章「環境と共生したうるおいのあるまちづくり」が「十分・やや十分」の割合が最も高く（41.6%）、第 5 章「魅力ある産業と活力のあるまちづくり」が最も低い（18.1%）結果となりました。一方、第 4 章「豊かな心と文化をはぐくむまちづくり」をはじめ、全体としては、「わからない」の割合が最も高いことから、町の様々な取り組みが町民に対してきちんと届いていない（町民の関心が町に向いていない）、もしくは、町の取り組みが町民のニーズを的確に捉えきれていない可能性があります。

しかしながら、後期基本計画策定以降の満足度の推移を見ると、「不十分・やや不十分」、「わからない」の割合は減少傾向、「十分・やや十分」の割合は増加傾向にあり、総じて町民の満足度の向上が見られます。このことから、後期基本計画における取り組み成果が、町民生活の中にも着実に表れてきているものと考えます。

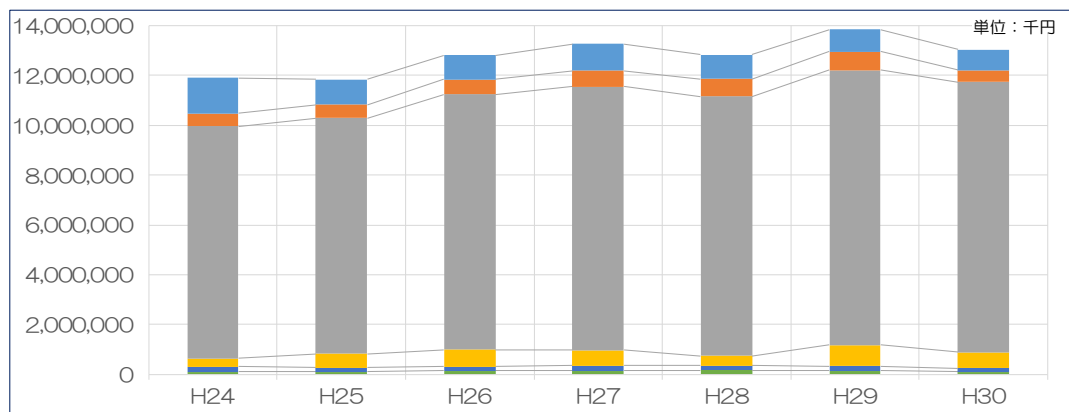
### 3. 各施策における計画事業費の状況

#### ◆後期基本計画期間（H24～H30）における総事業費

（単位：千円）

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
第1章	実績額	1,413,537	999,192	982,030	1,070,698	977,169	888,908	841,337	7,172,871
	構成割合	11.9%	8.4%	7.7%	8.1%	7.6%	6.4%	6.4%	8.0%
第2章	実績額	524,486	532,394	581,166	633,653	690,319	748,462	459,433	4,169,913
	構成割合	4.4%	4.5%	4.5%	4.8%	5.4%	5.4%	3.5%	4.7%
第3章	実績額	9,314,159	9,476,681	10,262,265	10,587,821	10,426,914	11,039,240	10,861,899	71,968,980
	構成割合	78.3%	80.1%	80.1%	79.8%	81.2%	79.7%	83.2%	80.4%
第4章	実績額	325,096	563,624	671,079	615,261	380,131	848,355	630,831	4,034,377
	投入事業費	2.7%	4.8%	5.2%	4.6%	3.0%	6.1%	4.8%	4.5%
第5章	実績額	205,763	152,303	178,764	211,727	195,092	182,533	151,011	1,277,194
	構成割合	1.7%	1.3%	1.4%	1.6%	1.5%	1.3%	1.2%	1.4%
基本姿勢	実績額	116,422	112,418	142,616	148,988	167,867	145,986	104,243	938,540
	構成割合	1.0%	0.9%	1.1%	1.1%	1.3%	1.1%	0.8%	1.0%
計		11,899,464	11,836,612	12,817,920	13,268,149	12,837,493	13,853,485	13,048,754	89,561,877

※第1章、第3章には一般会計のほか、特別会計、下水道事業特別会計の金額も一部含まれています



後期基本計画期間における総事業費は、約 120 億円から約 140 億円で推移していますが、このうち、第3章「安心して生きがいのあるまちづくり」の占める割合は年々高まりを見せています。これは、この分野が子育て支援や高齢者福祉、障がい者福祉など福祉全般に関する諸施策（各特別会計予算含む）を扱うものであるからであり、近年の社会保障関係費の増加傾向を町の政策分野においても表しているものと言えます。一方で、第1章「快適でにぎわいのあるまちづくり」は道路橋りょう整備や下水道整備など都市基盤整備に関するものですが、この社会保障関係費の伸び等を踏まえ、各整備計画・維持補修計画等で事業優先度を示し、事業費の投入量としては抑えながら、効果的な整備を行ってきました。その中で、第4章「豊かな心と文化を育むまちづくり」における教育分野やスポーツ分野など、次世代の育成に繋がる諸施策に事業費を配分し、将来の寒川町を見据えた投資的な事業実施を行ってきたところです。

なお、これらの事業費のほかに各業務に係る事務経費や職員人件費等があるほか、各特別会計があり、それらを合わせたものが寒川町全体の財政規模となります。



【参考】

◆各政策分野における事業費総額

「まちづくりの基本目標（5章）」を構成する「政策：施策の目標（12項目）」ごとの後期基本計画期間（平成24年度から平成30年度）における事業費総額と全体に占める構成割合です。「施策の目標」はそれぞれが大まかな政策分野に対応しています。

（単位：千円）

まちづくりの目標（施策の方向）		政策分野	事業費	構成割合
第1章	連携を考えた交通環境の整備を進めます	交通環境	2,487,482	2.8%
	快適な生活環境の整備を進めます	生活環境	2,986,098	3.3%
	魅力ある市街地の整備を進めます	市街地	1,699,291	1.9%
第2章	水とみどりの保全と活用を進めます	水と緑	6,594	0.0%
	環境にやさしいまちづくりを進めます	環境	4,163,320	4.6%
第3章	明るく生きがいのある健康づくりを進めます	健康づくり	2,137,295	2.4%
	心のかよいう福祉を充実します	福祉	68,608,316	76.6%
	安心して暮らせるまちづくりを充実します	安全・安心	1,223,370	1.4%
	ふれあいのある生涯学習を充実します	生涯学習	624,183	0.7%
第4章	豊かな心をはぐくむ教育を進めます	教育	3,185,392	3.6%
	地域の文化活動を進めます	地域文化	224,801	0.3%
第5章	まちの特性を生かしたふるさととの創造を図ります	産業	1,277,194	1.4%
基本姿勢		行政運営	938,540	1.0%
合計			89,561,877	100%

◆各施策分野における事業費総額

「施策の目標」（政策分野）をさらに細分化した施策分野における事業費の内訳と全体に占める構成割合です。

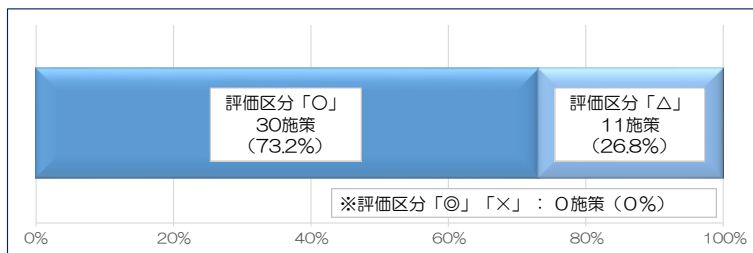
（単位：千円）

政策分野	施策分野	施策名	事業費	構成割合
交通環境	道路	111道路網の整備	2,178,451	2.4%
	公共交通	112公共交通網の整備	309,032	0.3%
生活環境	公園	121公園・緑地等の整備	39,929	0.0%
	下水道・河川	122下水道・河川の整備	2,442,263	2.7%
	環境	123環境美化の推進	190,686	0.2%
	住環境	124住環境の向上	313,220	0.3%
市街地	土地利用	131土地利用の適正化	18,014	0.0%
	市街地整備	132市街地整備の推進	1,681,278	1.9%
水と緑	緑化	211緑化の推進	1,576	0.0%
環境	環境	221環境共生の推進	5,018	0.0%
	公害対策	222公害の防止	25,363	0.0%
	ごみ対策	223資源の有効活用の推進	273,952	0.3%
	廃棄物処理	224廃棄物の適正処理	3,864,005	4.3%
健康づくり	健康づくり	311健康づくりの充実	1,180,252	1.3%
	医療・保健	312医療体制・保健衛生の充実	957,043	1.1%
福祉	地域福祉	321地域福祉の充実	547,659	0.6%
	高齢者福祉	322高齢者福祉の充実	622,211	0.7%
	子育て支援	323子育て支援の充実	13,773,813	15.4%
	障がい福祉	324障がい福祉の充実	7,076,601	7.9%
安全・安心	社会保障	325社会保障制度の推進	46,588,032	52.0%
	防災対策	331防災対策の充実	95,687	0.1%
	消防・救急	332消防・救急体制の充実	687,564	0.8%
	交通安全・防犯	333交通安全・防犯対策の充実	305,384	0.3%
	地域活動	334地域活動の推進	109,220	0.1%
	町民相談	335町民相談の推進	21,040	0.0%
	共生社会	336共に支え合う地域社会の実現	4,474	0.0%
生涯学習	生涯学習	411生涯学習の推進	546,714	0.6%
	スポーツ	412スポーツ・レクリエーション活動の推進	77,469	0.1%
教育	幼児・家庭教育	421幼児教育の推進・家庭教育の支援	512,557	0.6%
	学校教育	422学校教育の推進	2,634,928	2.9%
	青少年育成	423青少年の育成	37,907	0.0%
地域文化	地域文化	431地域文化の振興	221,192	0.2%
	地域間交流	432地域間交流の推進	3,609	0.0%
産業	商業	511商業の振興	357,931	0.4%
	工業	512工業の振興	130,196	0.1%
	農業	513農業の振興	187,026	0.2%
	勤労者	514勤労者対策の充実	499,310	0.6%
	観光	515観光の振興	102,731	0.1%
基本姿勢	協働	001町民との協働によるまちづくりの推進	201,682	0.2%
	広域行政	002広域行政によるまちづくり	2,191	0.0%
	行財政運営	003地方分権の推進と自律的な行財政運営	734,668	0.8%
合計			89,561,877	100%

## 4. 各施策における総合評価の状況

### ◆各施策における総合評価

章 (まちづくりの基本目標)	節 (施策の目標：政策)	項(施策)	総合評価	内訳(章)	内訳(節)
0 基本姿勢	0 基本姿勢	001 町民との協働によるまちづくりの推進	△	○：2施策 △：1施策	○：2施策 △：1施策
		002 広域行政によるまちづくり	○		
		003 地方分権の推進と自律的な行財政運営	○		
1 快適でにぎわいのあるまちづくり	1 連携を考えた交通環境の整備を進めます	111 道路網の整備	○	○：6施策 △：2施策	○：2施策
		112 公共交通網の整備	○		
	2 快適な生活環境の整備を進めます	121 公園・緑地等の整備	○		
		122 下水道・河川の整備	○		
		123 環境美化の推進	○		
		124 住環境の向上	○		
3 魅力ある市街地の整備を進めます	131 土地利用の適正化	△	△：2施策		
	132 市街地整備の推進	△			
2 環境と共生した うるおいのあるまちづくり	1 水とみどりの保全と活用を進めます	211 緑化の推進	△	○：4施策 △：1施策	△：1施策
		221 環境共生の推進	○		
	2 環境にやさしいまちづくりを進めます	222 公害の防止	○		
		223 資源の有効活用の推進	○		
3 安心して生きがいのあるまちづくり	1 明るく生きがいのある健康づくりを進めます	311 健康づくりの充実	○	○：11施策 △：2施策	○：2施策
		312 医療体制・保健衛生の充実	○		
	2 心のかよいあう福祉を充実します	321 地域福祉の充実	○		
		322 高齢者福祉の充実	○		
		323 子育て支援の充実	○		
		324 障がい福祉の充実	△		
	3 安心して暮らせるまちづくりを充実します	325 社会保障制度の推進	○		
		331 防災対策の充実	△		
		332 消防・救急体制の充実	○		
		333 交通安全・防犯対策の充実	○		
4 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	1 ふれあいのある生涯学習を充実します	411 生涯学習の推進	○	○：3施策 △：4施策	○：1施策 △：1施策
		412 スポーツ・レクリエーション活動の推進	△		
	2 豊かな心をはぐくむ教育を進めます	421 幼児教育の推進・家庭教育の支援	△		
		422 学校教育の推進	○		
5 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	1 まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	423 青少年の育成	△	○：1施策 △：1施策	
		431 地域文化の振興	○		
		432 地域間交流の推進	△		
		433 町民相談の推進	○		
5 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	1 まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	436 共に支え合う地域社会の実現	○	○：4施策 △：1施策	
		511 商業の振興	○		
		512 工業の振興	○		
		513 農業の振興	○		
		514 勤労者対策の充実	△		
		515 観光の振興	○		



#### 評価の区分

評価区分◎	施策は順調に進捗し、大きな成果を上げている。
評価区分○	施策は予定通りの進捗と成果を見せている。
評価区分△	一定の成果は見られるものの、改善すべき課題がある。または、成果は今後見込まれる。
評価区分×	予定した成果が上がっておらず、施策の推進には見直しを行うべき大きな課題がある。

各施策の総合評価結果について、評価区分別においては、全 41 施策中 30 施策（73.2%）で「評価区分○」、11 施策（26.8%）で「評価区分△」となりました。

このことから、各施策については、一部進捗に課題のある施策がありつつも、概ね順調に進んでいるものと考えられます。

なお、「評価区分◎」及び「評価区分×

## IV 各章ごとの取り組み状況

### 1. 第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり

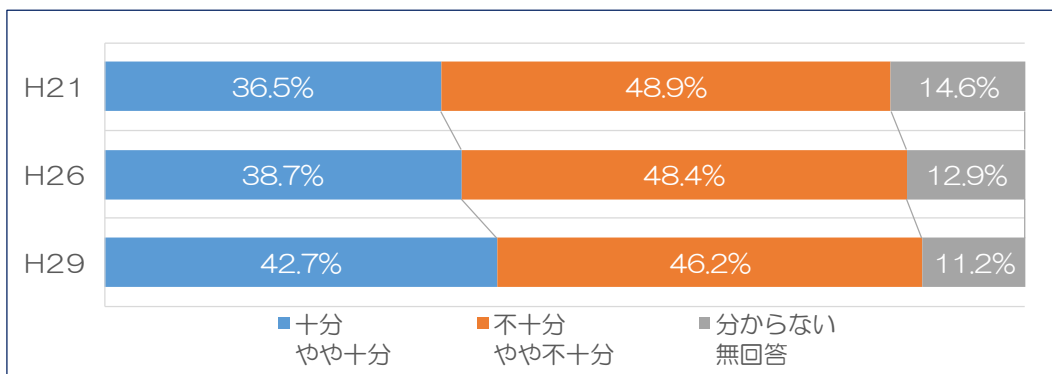
章	節	項
1 快適でにぎわいのあるまちづくり	1 連携を考えた交通環境の整備を進めます	1 道路網の整備
		2 公共交通網の整備
	2 快適な生活環境の整備を進めます	1 公園・緑地等の整備
		2 下水道・河川の整備
		3 環境美化の推進
		4 住環境の向上
	3 魅力ある市街地の整備を進めます	1 土地利用の適正化
		2 市街地整備の推進

#### (1) 第1節 連携を考えた交通環境の整備を進めます【さむかわの交通環境】

##### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
道路網の整備	幹線道路整備延長 (都市計画道路のみ)	km	10.5	17.1	17.1	17.1	101%
				17.2	17.2	17.2	
	町道整備着手率 (14路線)	%	25	75	83	100	86%
				57	71	79	
歩道整備着手率 (4路線)	%	25	75	100	100	100%	
			75	100	100		
町道維持工事着手率 (45路線)	%	-	33.3	66.6	100	133%	
			46.6	88.8	100		
公共交通網の整備	JR相模線乗客数 (3駅合計)	人	10,318	10,586 10,800	10,801 -	11,030 -	-
	路線バス町内乗り入れ便数	便/日	104	110	115	120	99%
				114	114	114	
駅バリアフリー対策率	%	66.6	66.6	66.6	100	100%	
			66.6	66.6	100		

##### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



##### ◆施策の目標への投入コスト (人件費、事務経費除く)

(単位：千円)

施策名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
111道路網の整備	286,059	286,545	287,053	300,013	372,538	340,351	305,891	2,178,451
112公共交通網の整備	29,317	25,813	34,082	48,703	51,872	43,432	75,813	309,032
合計	315,376	312,358	321,136	348,716	424,410	383,782	381,704	2,487,482

投入コスト (平均) (町民ひとり当たり)	7,423円
--------------------------	--------

【各施策におけるコスト比較】

(単位：千円)

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
111道路網の整備	311,207	5,749	3,229
112公共交通網の整備	44,147	1,415	443
合計	355,355	7,164	3,672

◆各施策における主な成果

【道路網の整備】

- ・寺尾橋供用開始 (H25年11月)
- ・藤沢大磯線町域本供用 (H26年3月)
- ・さがみ縦貫道路全線開通 (H27年3月)。
- ・都市計画道路宮山線について、路線測量、地質調査、詳細設計などを実施。
- ・道路橋りょう維持補修事業について、H27年度からH29年度までの期間で35路線、H30年度からR元年度(現時点)までの期間で8路線の維持工事に着手。
- ・狭あい道路解消事業については、H27年度からH29年度までの期間で736.85m、H30年度からR元年度(現時点)までの期間で903.92mの狭あい道路を解消。

【公共交通網の整備】

- ・海老名駅-寒川駅間の路線バス本格運行を実現。
- ・コミュニティバスについて、運賃やルート等運行形態の見直しを実施。
- ・倉見駅バリアフリー化に向けたJRとの協議を実施。

◆各施策における主な課題

【道路網の整備】

- ・道路橋りょう整備に関する町民の満足度について、約半数が「不十分、やや不十分」であることから、維持補修工事、砂利道の改良工事などの更なる実施が必要。
- ・道水路境界確認事業、狭あい道路解消事業について、有効性は高いものの、実施に係る経費と財源確保については検討が必要。
- ・整備事業の着手率について、事業費の大きな工事が多く、施策内における事業費配分が難しく、着手率の改善が困難。

【公共交通網の整備】

- ・関連自治体と連携を図り、各種同盟会等を通じた要望活動と、費用対効果を考えた事業展開が必要。
- ・路線バス町内乗り入れ便数増加に向けた町民の潜在的な需要の把握と確保。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【道路網の整備】

- ・都市計画道路の見直しについて、都市マスタープランの改定状況(次期総合計画との整合)、道路交通センサスの実施タイミング(R2年)を鑑み、時期の再検討が必要。
- ・都市計画道路の見直しに係る県・茅ヶ崎市との調整を図るための連携体制構築が必要。
- ・事業費が大きな道路橋りょう整備(用地費など)に係る優先度の再検討が必要。
- ・道路橋りょうの維持補修についても、従来の国庫補助の配分減を鑑み、R2年度改定予定の舗装維持修繕計画において、管理水準の見直しや優先順位の見直しを検討。
- ・新たな修繕工法の導入などにより修繕費の縮減方法を検討。

【公共交通網の整備】

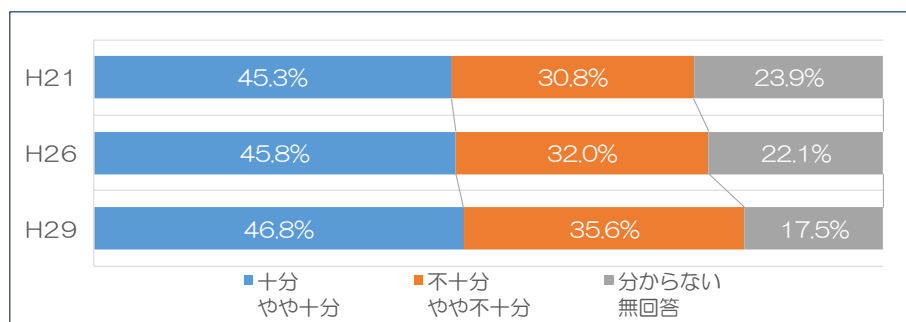
- ・住民の公共交通への関わり方、住民主体の公共交通を検討する協議体の形成。
- ・企業ニーズの視点を取り入れたコミュニティバスの運行体制の検討。

## (2) 第2節 快適な生活環境の整備を進めます【さむかわの生活環境】

### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
公園・緑地等の整備	1人あたりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	3.9	3.9	3.9	4.0	97%
				3.9	3.8	3.9	
	町民アンケート調査による現状評価（十分・やや十分と回答）	%	61	65	70	75	83%
				56.6	57.9	53.0	
下水道・河川の整備	公共下水道の処理人口普及率	%	91.94	93.65	94.90	95.97	98%
				92	93.17	93.82	
	雨水排水施設の整備率	%	96.02	98.74	99.32	100	98%
				97.00	97.10	97.10	
	河川の整備率	%	62	65	80	95	99%
				73.9	79.5	95.0	
環境美化の推進	自主的な環境美化活動の回数	回	62	70	76	82	78%
				44	59	65	
	町民アンケート調査による現状評価（十分・やや十分と回答）	%	42	45	50	55	91%
				47	45.5	50.0	
住環境の向上	高度地区指定面積	ha	-	632	632	632	100%
				632	632	657	
	住居表示実施面積	ha	462.1	481.7	481.7	481.7	100%
			462.1	481.8	471.9		
	情報通信を利用したコンテンツ数	件	1	3	10	20	150%
				11	15	20	

### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



### ◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
121公園・緑地等の整備	17,151	3,560	1,782	11,610	5,655	172	0	39,929
122下水道・河川の整備	338,836	355,486	361,255	318,895	326,838	352,974	387,979	2,442,263
123環境美化の推進	27,595	3,274	33,702	57,582	32,559	31,591	4,383	190,686
124住環境の向上	46,071	41,119	41,814	40,772	40,483	56,449	46,512	313,220
合計	429,653	403,438	438,553	428,860	405,535	441,186	438,874	2,986,098

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	8,916円
-------------------------	--------

### 【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
121公園・緑地等の整備	5,704	104	64
122下水道・河川の整備	348,895	6,096	3,544
123環境美化の推進	27,241	599	323
124住環境の向上	44,746	1,349	447
合計	426,585	8,149	4,378

## ◆各施策における主な成果

### 【公園・緑地等の整備】

- ・寒川駅北口地区土地区画整理事業に伴う大塚公園（H23年度）、大塚古墳公園（H24年度）の整備
- ・さむかわ中央公園内への幼児用遊具の設置及びバイク進入防止の車止めの設置、川とのふれあい公園のトイレ交換等公園設備の整備。

### 【下水道・河川の整備】

- ・下水道の処理人口普及率：93.17%（H29年度）
- ・経年により老朽化した施設の長寿命化対策工事及び耐震化工事の実施。
- ・東日本大震災を教訓とした耐震化対策に向けた計画の策定。
- ・下水道事業特別会計の公営企業会計への移行（経営の安定化）。
- ・相模川寒川第二排水樋管工事の完了（H27年度）。引き続き寒川第一排水樋管工事を予定。
- ・小出川の護岸工事实施、目久尻川の整備要望活動（神奈川県）の実施。

### 【環境美化の推進】

- ・相模川等美化キャンペーン、まちぐるみ美化運動、環境美化活動の実施。
- ・クラウドファンディング（H30：108万円の寄付）を活用した動物対策事業（不妊去勢手術補助金、TNR活動、猫の譲渡会）の実施。

### 【住環境の向上】

- ・高度地区の設定により、住民アンケート等で「空が広い」「富士山がよく見える」等の意見が多く寄せられ、町民の住環境に対する満足度への寄与度も高い。
- ・田端西地区の市街化編入（24.7h）に合わせ、高度地区の適用変更手続きを開始。
- ・岡田二丁目の住居表示、岡田一丁目の町名変更の実施（H30年3月）。
- ・町内全域で空き家対策に関する実態調査を実施し現況を把握。

## ◆各施策における主な課題

### 【公園・緑地等の整備】

- ・公園遊具の増設や新設を要望する声に対して、コストも含め十分な対応がとれておらず、使用禁止のままのものもある。
- ・公園施設の老朽化の進行、遊具数の減少。

### 【下水道・河川の整備】

- ・標準耐用年数（50年）を超える施設の増加（維持管理費や改築更新費用の確保）。
- ・汚水管の整備開始から約45年経過し、管路施設の老朽化対策が必要。
- ・早期に施工した地域の管路施設に対する耐震化
- ・雨水幹線の整備は完了したものの、道路冠水、床下浸水等が発生する地域への対策が必要。
- ・河川整備については、河川管理関係機関に対して引き続き要望を実施し、整備に結びつけることが必要。

### 【環境美化の推進】

- ・美化運動を進めていくためには、自治会や住民団体によるボランティア、企業の自主的な活動によるところが大きく継続性の担保と既存の団体等以外の新たな担い手の掘り起こしが課題。
- ・スズメバチの駆除、猫の不妊去勢に関する相談の増加。
- ・猫の保護ボランティアなど、町民等が積極的に活動できるための町側の支援体制の構築。

### 【住環境の向上】

- ・実態に即した空き家対策計画の策定と計画に基づく事業の執行。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【公園・緑地等の整備】

- ・公園の維持管理に係る費用の増加状況（人件費の上昇、樹木の生長による維持範囲の増大）も踏まえた、改築修繕施設の効果的な選定と地域住民・企業等との協働による維持管理体制の構築。

【下水道・河川の整備】

- ・市街化区域内の未整備区域の整備完了及び整備済区域において老朽化が懸念される地区の管路長寿命化や緊急輸送路に埋設されている管の耐震化（汚水）。
- ・浸水履歴がある箇所の子線整備及び維持管理費・改築更新費用の確保（雨水）。
- ・河川管理関係機関との整備促進に向けた継続的な連絡調整。

【環境美化の推進】

- ・快適な生活環境の維持に向けた町民の環境美化意識の醸成及び既存の手法以外の手段の検討。
- ・SDGsの普及による住民協働の在り方の検討。
- ・動物関連で最も苦情の多い野良猫の問題に対する新たな手法の検討。

【住環境の向上】

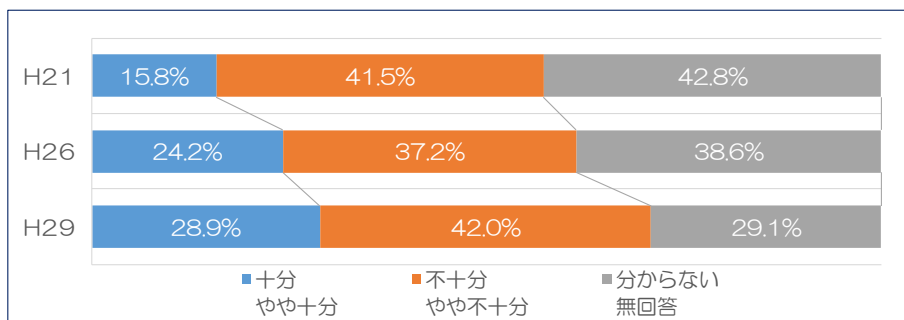
- ・市街地形成等の状況に応じた住居表示実施区域の検討。
- ・住居表示街区板の更新、維持管理。
- ・空き家問題に対する町としての方針の決定と、空き家を中心としたエリア整備の視点も持った対策計画の策定。

(3) 第3節 魅力ある市街地の整備を進めます【さむかわの市街地】

◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
土地利用の適正化	特定保留区域の市街化編入率	%	0	100	100	100	0%
				0	0	100	
市街地整備の推進	寒川駅北口地区土地区画整理事業の整備率	%	89	100	100	100	100%
				97	100	100	
	ツインシティ倉見地区の整備進捗率	%	0	0.7	14	32	1%
				0.1	0.1	16.2	
田端西地区の整備進捗率	%	0	0	20	70	0%	
			0	0	28		

◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
131土地利用の適正化	0	1,260	3,340	6,264	4,374	2,776	0	18,014
132市街地整備の推進	668,508	282,136	219,002	286,859	142,851	61,165	20,759	1,681,278
合計	668,508	283,396	222,341	293,123	147,225	63,940	20,759	1,699,291

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	5,098円
-------------------------	--------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
131土地利用の適正化	2,573	134	0
132市街地整備の推進	240,183	7,673	7,154
合計	242,756	7,807	7,154

◆各施策における主な成果

【土地利用の適正化】

- ・第7回線引き見直しにおける田端西地区の特定保留への設定。
- ・区域区分、用途地域、高度地区、下水道、土地区画整理事業、地区計画の説明会、素案の閲覧、公聴会、地区計画条例縦覧、説明会、都市計画案の縦覧を行い、田端西地区まちづくりの市街化編入を実施（R元年9月）。

【市街地整備の推進】

- ・寒川駅北口地区の土地区画整理事業について、建物移転と道路等の工事等の面整備が完了（H28年度）。換地処分に関する公告（H30年3月）。
- ・寒川駅南口の整備エリア、本町の状況に合わせた交通形態の改良等の検討を実施。
- ・第7回線引き見直しにおいて、引き続きツインシティ倉見地区を一般保留に位置づけ、取り組みを進める環境を整備。
- ・「東海道新幹線（仮称）倉見新駅促進協議会」の名称を「東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会」に変更（H30年11月）。
- ・JR 東海への要望活動の実施、連携協力体制の構築。
- ・田端西地区における事業計画案および土地区画整理組合定款案の作成、認可権者との事前協議、事業本同意書の取得を進めた。

◆各施策における主な課題

【土地利用の適正化】

- ・都市マスタープラン改定に向けた関連計画との整合（R2年度末目途）。

【市街地整備の推進】

- ・寒川駅南口駅前整備をはじめ、各事業について住民への事業進捗状況の周知を図りながら事業を推進していく必要がある。
- ・寒川駅南口駅前整備の問題となっている町道一之宮岡田17号線の送迎車両による交通渋滞の改善やバス転回場から寒川駅前までの交通ルート of 安全対策。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【土地利用の適正化】

- ・次期都市マスタープランと次期総合計画の進行管理の効率化。
- ・田端西地区の市街化編入に伴う新たな目標設定の検討。

【市街地整備の推進】

- ・寒川駅南口整備事業における、田端西地区まちづくり事業の進捗状況を踏まえながらの駅前の整備着手の検討。



## 2. 第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり

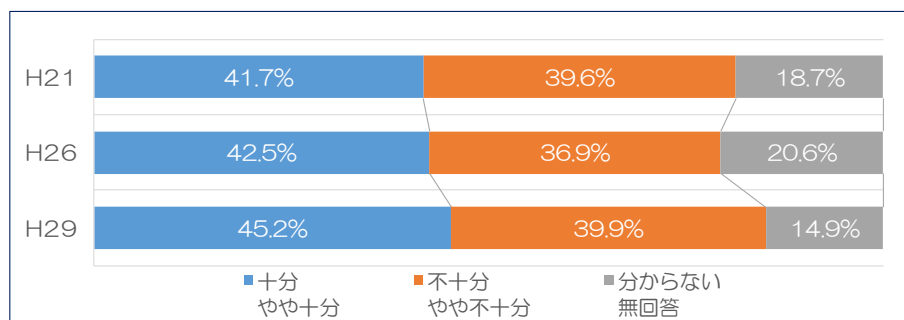
章	節	項
環境と共生した うるおいのあるまちづくり	1 水とみどりの保全と活用を進めます	1 緑化の推進
	2 環境にやさしいまちづくりを進めます	1 環境共生の推進
		2 公害の防止
		3 資源の有効活用の推進
		4 廃棄物の適正処理

### (1) 第1節 水とみどりの保全と活用を進めます【さむかわの水と緑】

#### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
緑化の推進	自然環境保全地域面積	ha	11.1	11.1	11.1	11.1	100%
				11.1	11.1	11.1	
	保存樹林指定面積	㎡	16,379	16,379	16,379	16,379	94%
16,379					15,338	15,338	
緑化まつり参加者数	人	17,500	17,500	18,500	19,250	20,000	-
				-	-	-	

#### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



#### ◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

施策名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
211緑化の推進	641	206	622	0	57	0	50	1,576
合計	641	206	622	0	57	0	50	1,576

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	5円
-------------------------	----

#### 【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
211緑化の推進	225	5	2
合計	225	5	2

#### ◆各施策における主な成果

##### 【緑化の推進】

- 産業まつり内の緑化フェアにおいて、小学生を中心に樹名板の作成を実施、ボランティア団体の協力で、さむかわ中央公園や旧目久尻川ふるさと緑道、自然観察の森の樹木に設置。
- 苗木配布、緑化推進ポスターコンクールの実施による町民へ緑化啓発の実施。
- グリーンラインの一部区間について整備実施（緑地整備には至らず）。
- 目久尻川ふるさとの川整備事業の全体計画において、旧河川敷を利用した野鳥観察の森と位置付けた箇所を、自然観察の森として、協働により事業費をかけずに整備

◆各施策における主な課題

【緑化の推進】

- ・開発等による保存樹木等の減少。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【緑化の推進】

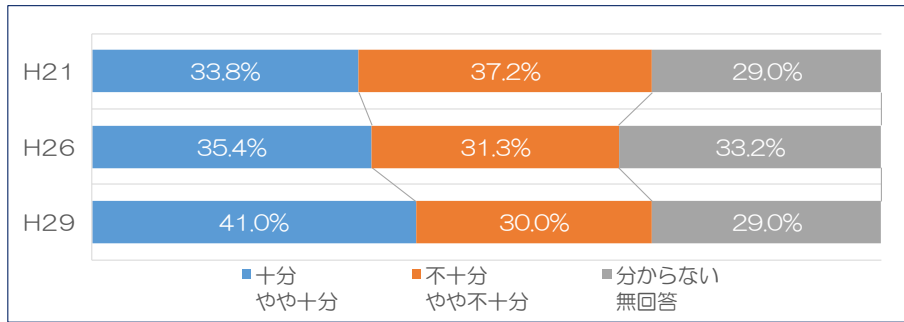
- ・保存樹林等の維持についての必要性周知の活動、保存樹林等の所有者が樹林等を保存しやすいような施策の検討。
- ・グリーンラインの整備に伴う一之宮緑地、田端緑地の整備・調整。

(2) 第2節 環境にやさしいまちづくりを進めます【さむかわの環境】

◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
環境共生の推進	環境学習講座や自然観察会の参加人数	人	64	80	120	120	81%
				407	97	132	
	町役場(本庁舎・分庁舎・東分庁舎)の床面積当たりの二酸化炭素排出量	kg/m <sup>2</sup>	49.1	47.6	46.1	44.6	124%
			37.4	37.3	36.0		
	町内事業者の環境マネジメントシステム(ISO14001等)の導入件数	件	60	63	66	69	77%
				65	51	53	
公害の防止	公害の未然防止に関する啓発を行った事業所及び研修会に参加した事業所の合計	件	230	258	279	300	85%
				272	237	229	
	環境測定項目の環境基準達成率	%	98	100	100	100	92%
			97	92	80		
	環境保全協定締結の対象事業所との締結割合	%	83	100	100	100	100%
				100	100	100	
資源の有効活用の推進	ごみの1人1日当たりの排出量(排出原単位)	g/人・日	851	820	790	760	100%
				824	787	770	
	リサイクル率	%	22.3	28.0	31.5	35.0	92%
				24.7	28.9	30.0	
	電気自動車導入累積件数	件	2	18	30	42	160%
				41	48	58	
	太陽光発電システム導入件数(町補助による累計件数)	件	53	133	193	253	249%
				341	481	481	
廃棄物の適正処理	広域ごみ処理施設数	箇所	1	2	2	3	100%
				2	2	2	
	焼却灰発生量	t/年	1,753	1,577	1,512	1,443	97%
			1,615	1,558	1,500		
	最終処分地確保数	箇所	1	2	2	2	50%
				1	1	2	

◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

施策名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
221環境共生の推進	625	1,020	1,464	409	424	433	643	5,018
222公害の防止	4,895	4,233	3,356	4,977	3,254	4,453	194	25,363
223資源の有効活用の推進	29,860	23,445	37,274	105,331	23,700	28,115	26,227	273,952
224廃棄物の適正処理	488,465	503,489	538,449	522,936	662,884	715,461	432,320	3,864,005
合計	523,846	532,187	580,544	633,653	690,262	748,462	459,383	4,168,337

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	12,441円
-------------------------	---------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
221環境共生の推進	717	27	8
222公害の防止	3,623	82	39
223資源の有効活用の推進	39,136	1,018	400
224廃棄物の適正処理	552,001	9,822	6,703
合計	595,477	10,949	7,150

◆各施策における主な成果

【環境共生の推進】

- ・川の生き物調査隊や野鳥観察会について、環境団体と共催することで、コストをかけずに事業を実施。
- ・町役場の二酸化炭素排出量を毎年度削減。

【公害の防止】

- ・各事業所への立ち入り調査、環境保全研修会における公害に関する情報提供による、町に寄せられる騒音・振動・悪臭等の苦情の減少。

【資源の有効活用の推進】

- ・ごみの減量化・資源化の進展（1人1日当たりのごみ排出量（少）：県内3位）。
- ・家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置補助の新設（H26～H30年度の補助件数：46件）。
- ・分別及び資源化に対する理解の進展（町民満足度調査による「十分・やや十分」の割合：66.3%）。

【廃棄物の適正処理】

- ・廃棄物（ごみ・資源・し尿）の収集運搬・処理業務の適切かつ着実な実施。
- ・不法投棄防止の推進及び、投棄された処理困難物の産業廃棄物としての適正な処理。

◆各施策における主な課題

【環境共生の推進】

- ・環境学習講座や自然観察会における新たな参加者獲得のための工夫。
- ・町内事業者の環境マネジメントシステム導入件数の伸び悩み。

**【公害の防止】**

- ・環境保全研修会（事業所を対象）における実施手法・内容の工夫。

**【資源の有効活用の推進】**

- ・さらなる減量化と資源化の促進に向けた、新たな取り組みについての検討。
- ・エネファーム補助制度の更なる PR と、省エネルギー・再生エネルギーの推進に向けた情報提供の手法検討。

**【廃棄物の適正処理】**

- ・資源物の収集回数に関する要望への対応検討。
- ・焼却灰の発生量に関する「資源の有効活用の推進（体系 2-2-3）」との施策間連携によるさらなるごみの減量化、資源化に向けた取り組みの検討。

**【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】****【環境共生の推進】**

- ・施策の進展に伴う施策の目標・方向性の見直し、検討と新たな目標指標の設定。

**【公害の防止】**

- ・より町民の意見を反映し、施策の効果を直接的に表しやすい目標指標の設定。

**【資源の有効活用の推進】**

- ・世界規模で大きな社会問題となっているプラスチックごみや食品ロスなどに対応するためのごみの減量化やリサイクル率向上の更なる推進、そのための町民や事業者に対するさらなる普及啓発活動（寒川町における SDGs の推進に向けた取り組み検討）。
- ・特に小学生など子どもに対する普及啓発活動（施設見学ツアーなど）。
- ・地球温暖化に伴う気候変動に対応するためのエネルギー対策（湘南エコウェーブなどの広域連携の仕組みの有効活用）。
- ・新たな環境課題に対する施策の方向性（目標、指標）の見直し。

**【廃棄物の適正処理】**

- ・新たな目標指標の設定。

### 3. 第3章 安心して生きがいのあるまちづくり

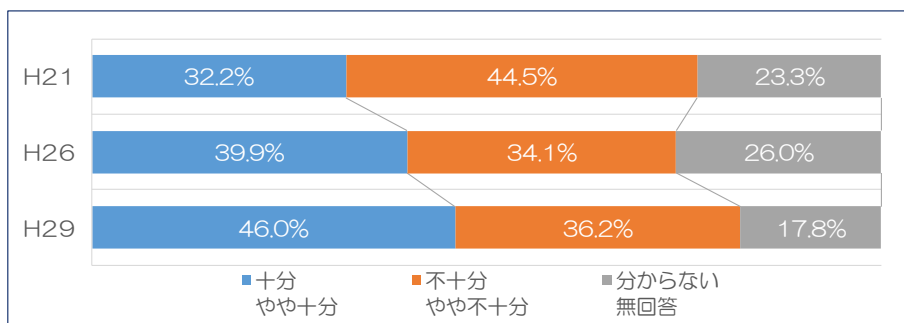
章	節	項
3 安心して生きがいのあるまちづくり	1 明るく生きがいのある健康づくりを進めます	1 健康づくりの充実
		2 医療体制・保健衛生の充実
	2 心のかよいあう福祉を充実します	1 地域福祉の充実
		2 高齢者福祉の充実
		3 子育て支援の充実
		4 障がい福祉の充実
	3 安心して暮らせるまちづくりを充実します	5 社会保障制度の推進
		1 防災対策の充実
		2 消防・救急体制の充実
3 交通安全・防犯対策の充実		
4 地域活動の推進		
5 町民相談の推進		
		6 共に支え合う地域社会の実現

#### (1) 第1節 明るく生きがいのある健康づくりを進めます【さむかわの健康づくり】

##### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
健康づくりの充実	健康普及事業の参加者数	人	2,000	2,100	2,300	2,400	108%
				2,448	2,487	2,400	
	健康増進事業の参加者数	人	350	450	500	550	235%
				1,147	1,175	550	
	特定健康診査の受診率	%	33	65.0	65.0	65.0	54%
がん検診の受診(初診)者数	人	1,900	1,900	1,950	2,000	165%	
介護予防事業の延べ参加者数	人	1,960	2,360	2,543	2,677	229%	
			2,462	5,830	9,657		
医療体制・保健衛生の充実	町民アンケート調査における地域医療に対する現状評価(十分・やや十分と回答)	%	37.1	50.0	55.0	60.0	70%
				34.3	38.6	60.0	
	休日昼間・夜間診療の提供率	%	100	100	100	100	100%
予防接種の接種率	%	49	55.0	60.0	65.0	103%	
			69.4	61.9	65.0		

##### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



##### ◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

(単位：千円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
311健康づくりの充実	164,452	163,182	172,705	177,447	143,457	162,014	196,996	1,180,252
312医療体制・保健衛生の充実	142,629	124,066	141,221	139,904	137,374	134,870	136,977	957,043
合計	307,082	287,249	313,926	317,351	280,831	296,884	333,973	2,137,295

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	6,381円
-------------------------	--------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
311健康づくりの充実	168,607	3,458	1,856
312医療体制・保健衛生の充実	136,720	3,064	1,518
合計	305,328	6,521	3,374

◆各施策における主な成果

【健康づくりの充実】

- 生活習慣病の予防・重症化予防のための「かながわ保健指導モデル事業」（3年間）を H25 年度より実施、県、保健所等との連携により、対象者が自ら気づき行動するという保健指導を展開し、モデル事業の支援体制の構築を図った。
- がん検診を受診できる医療機関の拡大（茅ヶ崎市内まで）による受診者の利便性向上。
- 健康に関する情報提供、生活習慣の見直しによる血液検査データの数値改善事例の創出。
- 特定健康診査受診勧奨の協力機関(医師会、薬剤師会、自治会)の増加。
- ジェネリック医薬品使用割合の向上（H29 年度平均：73.5%（県内 1 位））。

【医療体制・保健衛生の充実】

- 藤沢市・茅ヶ崎市との 2 市 1 町の取り組みによる藤沢市医師会立看護専門学校への補助金支出、連絡会議等による看護師確保に向けた連携実施。
- H25 年度秋の台風時に発生した床下浸水に対する消毒の実施及びマニュアルの作成。
- B 型肝炎予防接種の実施（H28 年度）。
- 母子アプリの導入及び活用（母子予防接種の個別周知等）。
- MR（麻しん・風しん）2 期の予防接種について、町内の小学校 5 校（就学時健診）で保護者に対し直接予防接種受診について勧奨実施（H30 年度）。
- 感染症については町内での蔓延は無かった。
- 風しんの追加的対策を実施（H31 年度）。
- 初期救急医療について、茅ヶ崎市地域医療センターの利用調整を実施（H31 年 4 月）。

◆各施策における主な課題

【健康づくりの充実】

- 介護予防の事業を再編（H29 年度）、住民自身が介護予防に取り組めるような講座・教室の実施が必要。
- がん検診について、受診勧奨、啓発のための受診券導入によりコスト増となったものの、受診率の増加には直接結びついていない。
- 特定健康診査の受診率向上のための取組強化の検討。
- 高齢者の保健事業につながる取り組み検討。
- 介護予防講師派遣事業の利用増のための検討。
- 健康づくり事業を実施するための庁内における連携体制の強化。

【医療体制・保健衛生の充実】

- 町内医師の高齢化による医療機関数の維持（特に小児科：2 院）。
- 地域の実態に応じた医療体制の充実のための医師会等の医療機関との更なる連携強化。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【健康づくりの充実】

- 介護保険事業計画における地域支援事業のバランスを取った事業の組み立て。
- 町民の健康寿命延伸に向けた各種保健事業の連携的な構築。

【医療体制・保健衛生の充実】

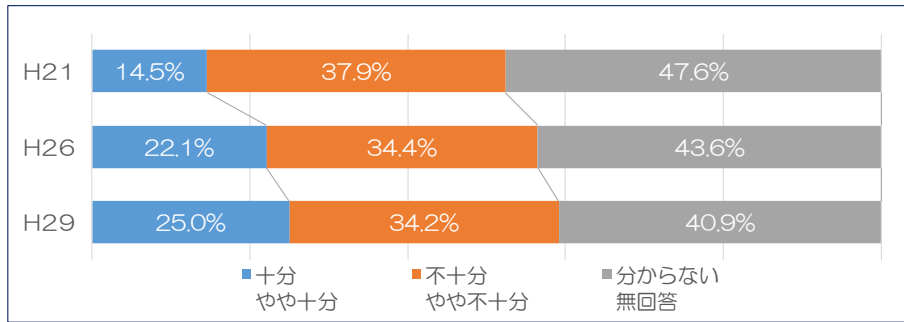
- ・MR2 期末接種者に対する就学時健診での接種勧奨。
- ・医師会等の医療機関との更なる連携。

(2) 第2節 心のかよいあう福祉を充実します【さむかわの福祉】

◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
地域福祉の充実	福祉ボランティア派遣人数	人	2,373	2,429 2,541	2,471 2,994	2,515 2,800	121%
	小地域福祉活動等の推進地区数	地区	12	18 14	23 15	23 16	65%
	健康福祉総合拠点施設整備数	箇所	0	0 0	0 0	1 0	0%
高齢者福祉の充実	ふれあいセンター利用者数	人	12,297	12,500 12,868	12,650 16,345	12,800 16,450	129%
	シルバー人材センターを通じて就労の場を得ている人の数	人	315	317 345	332 271	347 257	82%
	地域包括支援センターへの相談件数	件	2,992	3,600 3,270	3,882 5,646	4,201 6,559	145%
子育て支援の充実	地域子育て支援拠点数	箇所	1	2 1	2 1	2 1	50%
	父親母親教室（初妊婦）参加率	%	37.7	45.0 52.1	50.0 59.2	60.0 60.0	118%
	認可保育所定員数	人	540	630 630	630 630	630 630	100%
障がい福祉の充実	地域活動支援センターの設置数	箇所	0	1 1	1 1	1 1	100%
	一般就労した障害のある人の数（累計）	件	5	15 4	30 33	45 52	110%
	障害福祉サービス実利用件数	人	342	353 321	385 442	420 411	115%
	相談支援件数	件	2,230	3,024 6,446	3,809 7,179	4,800 4,800	188%
社会保障制度の推進	国民健康保険医療保険料収納率	%	90.6	92.0 93.3	92.0 92.4	92.0 92.7	100%
	介護保険料収納率（国の収納基準97%）	%	98.5	98.5 97.7	98.5 98.3	98.5 98.5	100%
	居宅介護（予防）サービス年間平均利用率	%	58	59.0 58.1	59.5 52	60.0 52	87%
	国民年金保険料収納率	%	60.3	65.0 59.8	68.0 63.5	70.0 64.0	93%

◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
321地域福祉の充実	52,322	48,493	128,010	122,055	50,505	94,499	51,775	547,659
322高齢者福祉の充実	92,738	91,199	109,148	76,044	60,451	96,436	96,196	622,211
323子育て支援の充実	1,709,061	1,688,225	1,867,515	2,002,983	1,978,370	2,325,327	2,202,331	13,773,813
324障がい福祉の充実	852,294	868,113	909,267	1,010,047	1,056,304	1,163,475	1,217,101	7,076,601
325社会保障制度の推進	6,152,525	6,291,120	6,765,892	6,844,135	6,767,903	6,916,561	6,849,895	46,588,032
合計	8,858,940	8,987,150	9,779,833	10,055,264	9,913,535	10,596,297	10,417,297	68,608,316

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	204,777円
-------------------------	----------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
321地域福祉の充実	78,237	3,381	947
322高齢者福祉の充実	88,887	3,388	947
323子育て支援の充実	1,967,688	71,606	19,677
324障がい福祉の充実	1,010,943	61,936	10,109
325社会保障制度の推進	6,655,433	249,708	69,959
合計	9,801,188	390,019	101,639

◆各施策における主な成果

【地域福祉の充実】

- ・民生委員児童委員による地域住民に対する的確な援助・相談・指導等の活動の実施。
- ・必要な支援、補助による福祉サービスの提供。

【高齢者福祉の充実】

- ・介護保険の制度改正による、包括的支援事業の内容の再構築。
- ・ふれあいセンターの利用者数の増加。
- ・シルバー人材センターにおける就業率の増加（会員数は減）。
- ・地域包括支援センターにおける相談件数の増加。
- ・出張相談の機会創出（H27年度：月1回、H28年度：月2回、H29年度：週1回）。

【子育て支援の充実】

- ・町立保育園の民営化（H26年度）。
- ・対象者の経済的負担の軽減（ファミサポ利用料金の町一部負担導入（H27）、小児医療費助成事業の対象年齢拡充（H29）、不妊治療費助成事業・不育症治療費助成事業の実施等）。
- ・地域で子育てをする機運の醸成（地域子育て環境づくり支援事業）
- ・南小学校区児童クラブの建設完了（H27）。
- ・子育て世代包括支援センターの設置（母子保健コーディネーターによる妊娠期からの切れ目ない支援）。
- ・認定こども園等の開園による確保提供量の増加（家庭的保育事業所（H29年10月）、幼保連携型認定こども園（H30年4月）、小規模保育事業所（H30年6月））。



**【障がい福祉の充実】**

- ・ 障害者自立支援給付事業や日常生活用具等給付事業など各種事業を実施し、概ね計画どおりに施策を推進。

**【社会保障制度の推進】**

- ・ 各制度とも給付事業を始めとして法令に基づいた事業を適切に実施。

**◆各施策における主な課題****【地域福祉の充実】**

- ・ 寒川町公共施設等総合管理計画、公共施設等再編計画の方向性に基づく、(仮称)健康福祉総合センターの整備手法等の検討。
- ・ 地域、保健、医療、福祉等との連携のさらなる推進。

**【高齢者福祉の充実】**

- ・ 定年延長によるシルバー人材センターの会員数減。

**【子育て支援の充実】**

- ・ 関連する取り組みの充実に対する住民満足度の状況（特に 20 代の満足度）
- ・ 保育所等及び児童クラブの未入所児童に関する取り組み。
- ・ 子育て世代包括支援センターとして取り扱う相談件数の継続的増加（見込み）及び相談者が安心して相談できる環境の整備（専門相談員の増員や養成）。
- ・ 子育てサポートセンターの利便性（立地と交通手段）。
- ・ 各保育園の老朽化対策及び既存園の保育環境の充実。
- ・ 既存幼稚園の認定こども園への移行に伴う保育確保提供量増のための園舎建て替え支援。

**【障がい福祉の充実】**

- ・ 地域生活支援拠点等の事業の実施（R2 年度までに整備）に向けた障がい者福祉サービスのニーズ把握及び制度設計等。
- ・ 相談支援件数と、障害福祉サービス実利用件数の増加状況への対応。
- ・ 一部サービスにおける提供可能事業所の不足（希望するサービスの提供に関する課題）。
- ・ 障がい者の重度化・高齢化、介護者の高齢化に伴う地域全体で支えるサービス提供体制の構築。

**【社会保障制度の推進】**

- ・ 個人の経済状況に応じたサービス提供（介護保険制度）。
- ・ 社会保険と国民健康保険の切り替えに関する状況把握。

**【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】****【地域福祉の充実】**

- ・ 国の「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」の動向に注視しつつ、新たな地域福祉計画の策定を進める。

**【高齢者福祉の充実】**

- ・ シルバー人材センター会員増のための広報啓発の強化。
- ・ 従来の枠組み以外の新しい社会資源を活用した高齢者の生きがい創出、経済支援検討。

**【子育て支援の充実】**

- ・ 現在町内 4 カ所で月 1 回開催する巡回ひろばの開催箇所数の増加についての検討。
- ・ R 元年 10 月から始まる無償化による子育て関連サービス提供のための施策上の検討。

**【障がい福祉の充実】**

- ・ 基幹相談支援センターの設置と短期入所等の確保と活用。
- ・ 施設や親元から地域生活への移行に向けたサービス提供体制の整備と地域の体制作り。

**【社会保障制度の推進】**

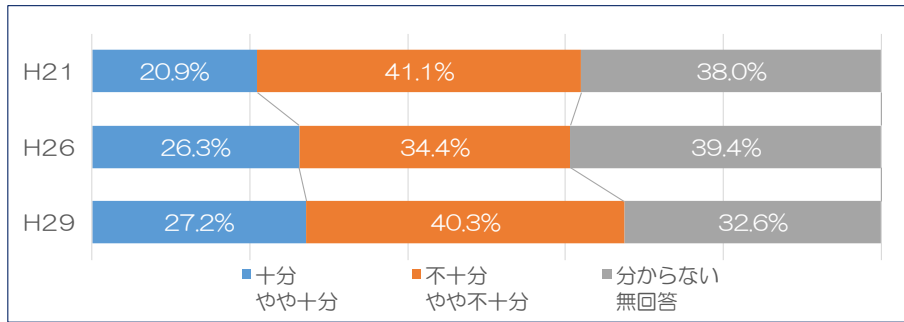
- ・ 現介護保険事業計画期間と次期総合計画の整合性の確保。

### (3) 第3節 安心して暮らせるまちづくりを充実します【さむかわの安全・安心】

#### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
防災対策の充実	総合防災訓練の参加者数	人	720	750 797	780 748	810 810	96%
	全世帯における自主防災組織への加入率	%	77.9	79.0 74.0	80.0 72.1	81.0 69.0	90%
	把握済み要援護者数（累計）	人	512	1,000 1,205	1,100 2,063	1,200 2,000	188%
	木造住宅耐震化率	%	83	88 85	92 87	95 90	95%
消防・救急体制の充実	火災発生件数	件	20	17 13	14 14	10 14	100%
	心肺停止状態で救急搬送された傷病者の救命率	%	7.1	8.0 7.0	9.0 15.0	11.0 11.0	167%
	救急救命士資格取得者数（累計）	人	15	18 18	16 21	17 23	131%
	普通救命講習受講者数（累計）	人	3,500	4,100 5,973	4,700 6,884	5,300 7,400	146%
交通安全・防犯対策の充実	交通事故件数	件	317	289 186	264 186	241 177	142%
	刑法犯罪件数	件	549	501 331	457 287	417 216	159%
地域活動の推進	自治会加入率	%	77.9	79.0 74.2	80.0 72.1	81.0 69.0	90%
	地域集会所の利用回数	回	3,990	4,000 3,605	4,000 3,669	4,000 3,600	92%
町民相談の推進	町民相談件数	件	403	430 363	450 390	470 470	87%
	消費生活に関する研修会・講習会の開催数	回	3	4 3	4 2	4 2	50%
	消費生活に関する知識・情報等の広報・チラシ等による周知回数	回	3	4 3	5 5	6 6	100%
	消費生活相談解決率	%	79	80 98	82 91	84 91	111%
共に支え合う地域社会の実現	町民アンケート調査における男女共同参画に対する現状評価（十分・やや十分と回答）	%	17.2	20.0 15.7	30.0 17.4	40.0 20.0	58%
	町民アンケート調査における平和で平等な社会の実現に対する現状評価（十分・やや十分と回答）	%	17.1	20.0 25.5	23.0 25.0	25.0 25.0	109%
	言語通訳利用件数	件	16	16 12	16 20	16 20	125%

◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
331防災対策の充実	11,516	19,718	12,977	18,727	11,663	10,041	11,044	95,687
332消防・救急体制の充実	81,343	118,920	98,331	142,049	146,896	67,403	32,620	687,564
333交通安全・防犯対策の充実	36,788	45,100	39,572	35,237	49,208	44,179	55,301	305,384
334地域活動の推進	14,594	15,033	13,990	15,864	20,870	20,327	8,542	109,220
335町民相談の推進	3,449	3,186	3,250	2,806	2,817	2,892	2,640	21,040
336共に支え合う地域社会の実現	447	325	386	524	1,094	1,217	482	4,474
合計	148,138	202,282	168,507	215,207	232,548	146,058	110,629	1,223,370

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	3,654円
-------------------------	--------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
331防災対策の充実	13,670	585	144
332消防・救急体制の充実	98,223	2,407	982
333交通安全・防犯対策の充実	43,626	1,696	436
334地域活動の推進	15,603	570	172
335町民相談の推進	3,006	136	36
336共に支え合う地域社会の実現	639	30	7
合計	174,767	5,425	1,777

◆各施策における主な成果

【防災対策の充実】

- ・防災訓練、研修会、講演会等の開催、各自主防災組織に対しての防災資機材補助金の交付、災害時に必要な資機材の整備や知識の取得による地域防災力の強化。
- ・各種イベント等での耐震診断・改修工事の制度に関する啓発活動の実施、住宅耐震化率の向上。
- ・町で作成する避難行動要支援者名簿（本人同意分）の自治会、民生委員への提供による地域の災害時避難行動要支援者対応体制の整備。

【消防・救急体制の充実】

- ・普通救命講習実施や救急救命士の配置による救命率の向上。
- ・町ホームページから町民等への気象情報や災害情報提供の実現。
- ・茅ヶ崎市との指令業務の共同運用開始（H28年2月）、消防広域化の実施決定（R4年度）。

【交通安全・防犯対策の充実】

- ・交通安全キャンペーン、道路反射鏡の新設並びに修繕による交通事故件数の維持・減少。
- ・新入学児童及び転入児童への防犯ブザーの貸与による低学年の安全確保。
- ・防犯キャンペーン、保護司会の研修、社会を明るくする運動、更生保護活動、犯罪予防活動の支援による犯罪件数の減少。
- ・町民のニーズに則した防犯灯の整備による町民満足度の向上、刑法犯罪件数の減少。

【地域活動の推進】

- ・自治会の情報発信強化への支援、地域担当職員の配置による地域との連携強化、地域コミ

ユニティの活発な活動や運営の支援。

- ・協働事業提案制度モデル事業の開始による地域の公共的課題の解決と町民団体の活性化。
- ・市民討議会を通じた協働事業提案制度の見直し。
- ・若者参画コミュニティ「まちびとすたいる」の設立及び活動のサポート、まちづくり懇談会の若者・子育て世代編の実施等を通じた若い世代との協働の取り組みや意見の把握。
- ・上記の取り組み成果としての住民満足度の向上。

#### 【町民相談の推進】

- ・茅ヶ崎市との連携による町民が利用しやすい相談体制の充実（消費生活相談、多重債務法律相談、司法書士相談）。
- ・消費生活相談については、相談員の研修機会の確保による資質の向上、相談解決率の大幅な増加。相談者の満足度は高い。

#### 【共に支えあう地域社会の実現】

- ・講演会や講座の開催、相談の実施、学習機会の提供、各種 PR による男女共同参画に関する意識の高揚、人権意識の向上、平和意識の浸透。

### ◆各施策における主な課題

#### 【防災対策の充実】

- ・共助における地域のコミュニティの希薄化。
- ・耐震化率向上の阻害要因となる耐震改修工事にかかる多額の費用負担への対応。
- ・各自主防災組織による防災訓練への若年層の参加。

#### 【消防・救急体制の充実】

- ・防火思想の普及啓発、消防団の活性化と消防力の強化。
- ・救急車の適正利用や応急手当普及啓発活動。

#### 【交通安全・防犯対策の充実】

- ・高学年の防犯ブザー携帯所持率の低下（所持率 H27：69.2%、H28：66.6%）。
- ・高齢者に対する事故の防止啓発と多様化・巧妙化している振り込め詐欺等の防止啓発。
- ・地域における連携意識の薄れによる地域社会の犯罪抑止機能の低下。

#### 【地域活動の推進】

- ・自治会加入率の減少。

#### 【町民相談の推進】

- ・県及び近隣市町との相談事業に関する連携。
- ・町民ニーズに応じた相談の実施。

#### 【共に支えあう地域社会の実現】

- ・継続した意識づくり（満足度「不十分、やや十分」が高い）。

### 【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

#### 【防災対策の充実】

- ・発災直後の自助を中心とした行動、その後の共助の重要性の継続的な啓発。

#### 【消防・救急体制の充実】

- ・消防体制の維持及びさらなる充実強化（財源確保等）。

#### 【交通安全・防犯対策の充実】

- ・通学路や歩道の整備、高齢者対策や自転車等の交通マナーの啓発等、おおむね横ばい傾向にある交通事故発生状況への対応。
- ・高齢者に対する振り込め詐欺等の被害の未然防止に向けた防犯意識の啓発、地域における防犯活動、犯罪抑止のための地域づくりやパトロールの強化。

#### 【地域活動の推進】

- ・自治会加入率の継続的な減少傾向への対応。

**【町民相談の推進】**

- ・町民ニーズに応じた相談実施のための県等との連携事業の活用検討。

**【共に支えあう地域社会の実現】**

- ・戦争体験者、原爆被爆者の高齢化と、戦争や核兵器の悲惨さ、平和の尊さの次世代への継承。
- ・DV 被害者及び犯罪被害者への支援。
- ・今後増加が予想される外国籍住民への支援の検討。

#### 4. 第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

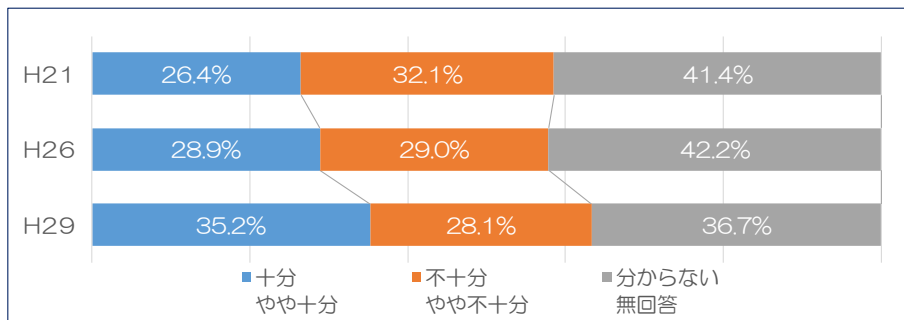
章	節	項
4 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	1 ふれあいのある生涯学習を充実します	1 生涯学習の推進
		2 スポーツ・レクリエーション活動の推進
	2 豊かな心をはぐくむ教育を進めます	1 幼児教育の推進・家庭教育の支援
		2 学校教育の推進
		3 青少年の育成
	3 地域の文化活動を進めます	1 地域文化の振興
2 地域間交流の推進		

##### (1) 第1節 ふれあいのある生涯学習を充実します【さむかわの生涯学習】

###### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
生涯学習の推進	町民大学等各種講座参加者数	人	16,914	18,600	18,600	18,600	89%
	図書館町内在住者の利用登録率	%	34.9	41.5	44.5	47.5	
スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ教室参加者数	人	66	250	275	300	42%
				288	116	200	
	スポーツボランティア登録者数	人	0	40	70	100	0%
				0	0	0	

###### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



###### ◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
411生涯学習の推進	74,715	56,812	57,903	59,652	59,800	237,054	778	546,714
412スポーツ・レクリエーション活動の推進	3,723	10,532	13,319	5,479	5,273	5,039	34,104	77,469
合計	78,438	67,344	71,223	65,131	65,073	242,093	34,882	624,183

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	1,862円
-------------------------	--------

###### 【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
411生涯学習の推進	78,102	2,439	828
412スポーツ・レクリエーション活動の推進	11,067	288	525
合計	89,169	2,727	1,353

###### ◆各施策における主な成果

###### 【生涯学習の推進】

- あらゆる世代を対象とした様々な分野の講座、教室、イベント等の開催による文化教養の向上、地域づくりのための学習機会の提供。

- ・総合図書館における資料収集、保存、提供や資料展示、企画事業等による利用の拡大と生涯学習機会の拡充（町内在住者の利用登録率拡大）。
- ・総合図書館及び町民センター（公民館）への指定管理者制度の導入による行政サービスの向上（H29年度）

**【スポーツ・レクリエーション活動の推進】**

- ・田端スポーツ公園への指定管理者制度の導入による行政サービスの向上（H28年度）。
- ・観桜駅伝競走大会、さむかわスポーツデイの運営形態の変更（実行委員会形式）による運営継続性の担保（町内外企業からの協賛金、協賛品の活用）（H30年度）。
- ・5年連続となる「チャレンジデー」への参加（町民にスポーツを始めるきっかけとなる機会の提供）。
- ・スポーツ教室（テニス、弓道、卓球）の実施方法の見直しによるコストの抑制。
- ・パンプトラックさむかわの整備（H30年10月）。
- ・ストリートスポーツ世界大会「ARK LEAGUE」の誘致活動、機運醸成に向けた取り組み。

**◆各施策における主な課題**

**【生涯学習の推進】**

- ・多様化する学習ニーズに対応した講座等の開催。
- ・生涯学習に関する情報が行き渡るような様々な媒体を活用した情報提供の実施。

**【スポーツ・レクリエーション活動の推進】**

- ・スポーツに関するアンケート結果の運動・スポーツをしない理由「仕事や家事、育児が忙しく時間がない（60%近くの人が回答）」への対応。

**【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】**

**【生涯学習の推進】**

- ・生涯学習に取り組むための間口拡大を目的とした多様な手法による情報提供。
- ・多様化する学習ニーズの把握と、誰もが参加しやすくなる環境の整備。
- ・生涯学習活動に関わる人材の育成。

**【スポーツ・レクリエーション活動の推進】**

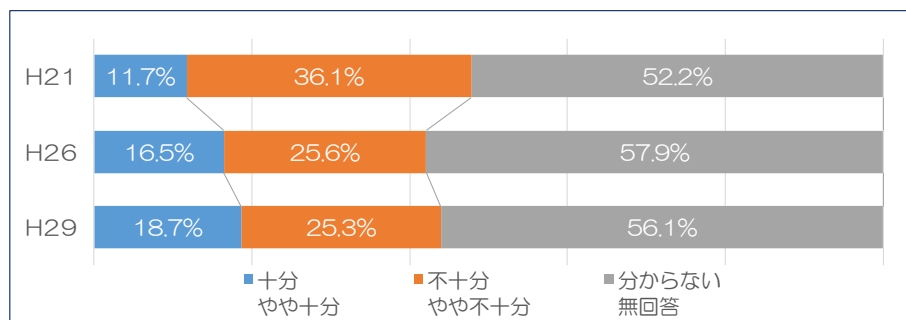
- ・若い世代のスポーツ離れ対策としてのストリートスポーツの推進、仕事・家事・育児の理由によりスポーツをすることができない人が参加しやすい新たなイベント・教室等の開催。
- ・イベント運営の安定化を目的としたメインスポンサー獲得のための体制づくり。

## (2) 第2節 豊かな心をはぐくむ教育を進めます【さむかわの教育】

### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
幼児教育の推進・家庭教育の支援	親子参加型の公民館等講座参加者数	人	2,345	2,580 2,120	2,580 2,528	2,580 2,580	98%
	私立幼稚園等への就園率	%	96	100 87	100 92.1	100 100	92%
学校教育の推進	学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	%	78	85 84	90 84	95 95	93%
	町基礎力定着度確認問題の正答率	%	65	70 67	75 68	80 80	91%
青少年の育成	ジュニアリーダーズクラブ会員数	人	33	36 18	40 13	44 10	33%
	ふれあい塾登録率	%	67.1	80 61.1	90 64.2	100 60.0	71%

### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



### ◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
421 幼児教育の推進・家庭教育の支援	57,334	64,473	87,621	75,675	84,227	78,174	65,053	512,557
422 学校教育の推進	172,783	415,411	495,736	458,570	214,890	364,860	512,678	2,634,928
423 青少年の育成	5,032	4,801	4,834	5,249	5,471	5,667	6,853	37,907
合計	235,150	484,685	588,191	539,493	304,588	448,702	584,584	3,185,392

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	9,506円
-------------------------	--------

### 【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
421 幼児教育の推進・家庭教育の支援	73,222	4,169	770
422 学校教育の推進	376,418	16,562	4,092
423 青少年の育成	5,415	345	104
合計	455,056	21,077	4,966

### ◆各施策における主な成果

#### 【幼児教育の推進・家庭教育の支援】

- ・私立幼稚園等の児童の保護者に対する経済的負担の軽減。
- ・「家庭学習の手引き」の作成（H28年度）・配布（H29年度）

#### 【学校教育の推進】

- ・就学援助、少人数学級や教育相談事業、教育フロンティア専門指導員の配置、ネットパト



ロールの充実による、学校教育と子どもたちを取りまく喫緊の課題への対応。

**【青少年の育成】**

- ・ふれあい塾を通じた、家庭、学校及び地域の連携、児童の遊び場、体験の場を通じた異年齢児童間の交流の促進、創造性や自主性及び社会性を養育と児童の健全育成。

**◆各施策における主な課題**

**【幼児教育の推進・家庭教育の支援】**

- ・各家庭において異なる教育のあり方と、行政に求めるニーズを適確に把握。
- ・地域における家庭教育支援の充実を目的とした公民館での親子事業において、公民館施設のハード的な使いにくさが乳幼児を連れた親子にとっての課題となっている（エレベーターが無い、駐車場が狭い・離れている、コミュニティバスが停車しない等）。

**【学校教育の推進】**

- ・町民満足度の結果を踏まえた、各学校、教育委員会の事業に関する保護者、町民への積極的な情報発信。
- ・学力向上の基本となる家庭環境の相談や多様な支援が必要とされる児童生徒の教育相談、学校と家庭を結ぶスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの充実。

**【青少年の育成】**

- ・ふれあい塾の1日平均利用者数については減少傾向。
- ・少子化、子どもの生活様式の多様化による会員数及び登録率の減少。

**【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】**

**【幼児教育の推進・家庭教育の支援】**

- ・施策推進のための効果的な事業構成についての検討。（施策「子育て支援の充実」との目標、取り組み内容の整理）

**【学校教育の推進】**

- ・教育振興基本計画と次期総合計画の整合性の確保と、施設設備の整備、教育相談の充実等といった教育現場における課題解決に向けた各施策・事業の効果的な構成・推進。

**【青少年の育成】**

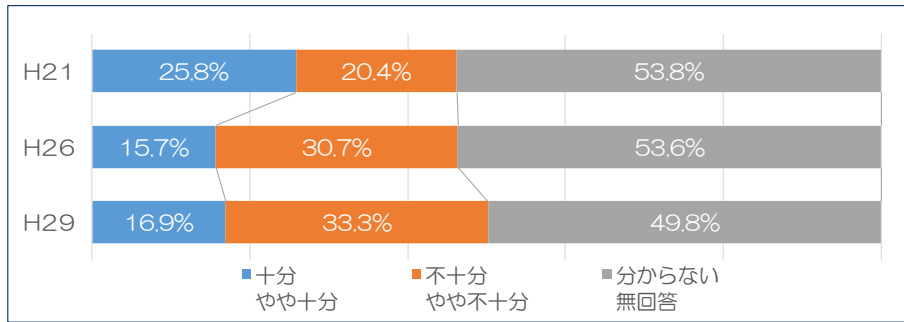
- ・少子化、子どもの生活様式の多様化による各事業の方向性、実施手法の検討。

**(3) 第3節 地域の文化活動を進めます【さむかわの地域文化】**

**◆施策の目標を構成する各施策目標の状況**

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
地域文化の振興	文化財学習センター来館者数	人	646	710	781	859	133%
	公民館まつり参加者数	人	3,000	1,071	1,039	650	
地域間交流の推進	広報紙への地域間交流情報提供回数	回	5	7	9	10	111%
				13	10.0	6.0	
	行政が関与した姉妹都市との交流事業数	回	5	6	7	8	57%
				5	4	4	

◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
431地域文化の振興	11,393	11,442	11,456	10,485	10,068	155,383	10,965	221,192
432地域間交流の推進	115	153	210	152	401	2,177	401	3,609
合計	11,508	11,595	11,665	10,637	10,469	157,560	11,366	224,801

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	669円
-------------------------	------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
431地域文化の振興	31,599	1,318	316
432地域間交流の推進	516	52	7
合計	32,114	1,370	323

◆各施策における主な成果

【地域文化の振興】

- ・町観光協会、商工会との連携による駅前での収蔵品の展示（町民への町文化財のPR）。
- ・4,000点の資料を新たに閲覧できるよう整備、企画展、講演会等多彩な普及事業を通じて、地域の記録を残すことの大切さを知ってもらい、地域への興味関心を醸成。

【地域間交流の推進】

- ・町民の姉妹都市山形県寒河江市の住民や外国人と交流する機会の創出。
- ・国際交流協会との連携による青少年をはじめとした町民の国際交流事業、国際理解・多文化理解事業、外国籍町民への支援等の推進。

◆各施策における主な課題

【地域文化の振興】

- ・今後文化活動への参加を促すべき若年層の満足度。
- ・文化財学習センターの体制変更（予約制）による来館者数の減少。

【地域間交流の推進】

- ・より幅広い属性の町民の多様な交流を促進するような事業内容の検討（町民満足度の結果より、事業参加に関する年代・性別の偏りがあると推測される）。

【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

【地域文化の振興】

- ・若年層、特に青少年の参加が促せるような事業内容の検討。
- ・各施設の在り方検討と施策目標及び目標指標の見直し。
- ・寒川町における郷土愛醸成に向けた文書館及び寒川町史の有効活用。

【地域間交流の推進】

- ・施策・事業の目標や内容の見直し。

## 5. 第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり

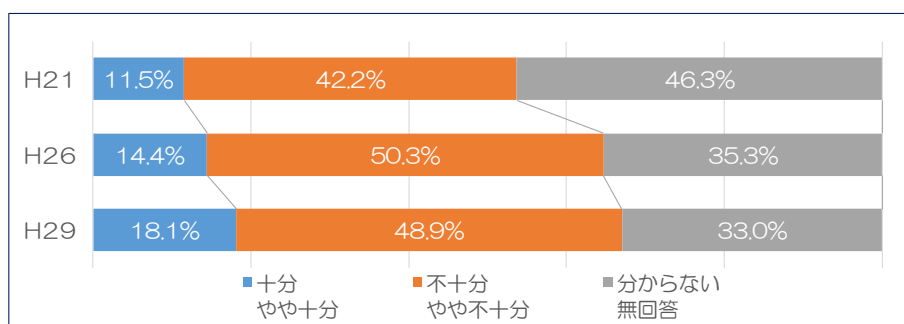
章	節	項
5 魅力ある産業と活力のあるまちづくり	1 まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	1 商業の振興
		2 工業の振興
		3 農業の振興
		4 勤労者対策の充実
		5 観光の振興

### (1) 第1節 まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります【さむかわの産業】

#### ◆施策の目標を構成する各施策目標の状況

施策名	指標名	単位	H22	H26	H29	H32 (R2)	達成率 (H29実績)
			基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 見込値	
商業の振興	小売業年間商品販売額	億円	297	297 246	300 270	300 290	90%
	小売業売場面積	百㎡	272	276 283	280 289	280 300	103%
	寒川らしさを感じる特産品数	品目	24	25 31	26 25	27 27	96%
工業の振興	製造品出荷額等	億円	3,221	3,221 3,306	3,221 3,639	3,456 3,456	113%
	企業立地条則による立地企業数 (累計)	所	6	9 7	18 12	27 15	67%
	中小事業所現金給与総額(4~ 299人)	億円	230	230 162	230 174	246 246	76%
農業の振興	農業基盤整備受益面積(累計)	ha	60.8	62.0 62.0	66.3 63.7	69.6 63.7	96%
	新規就農者数(累計)	人	0	2 1	3 1	4 2	33%
	農産物直売施設数	箇所	25	29 24	32 24	35 24	75%
勤労者対策の 充実	労働講座等への参加人数	人	24	30 53	35 38	40 50	109%
	就職面接会の開催	回	1	1 1	1 1	1 1	100%
観光の振興	日帰り観光客数	万人	185.5	210 187	230 212	250 200	92%
	観光導線の核となる観光資源数	箇所	47	51 54	54 56	57 57	104%

#### ◆施策の目標に対する町民満足度の状況



◆施策の目標への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
511商業の振興	21,688	22,486	20,214	87,239	68,760	69,158	68,386	357,931
512工業の振興	45,526	41,612	41,423	300	478	445	413	130,196
513農業の振興	17,688	18,417	28,191	37,952	38,429	23,490	22,859	187,026
514勤労者対策の充実	112,010	61,584	61,318	68,197	67,676	69,906	58,619	499,310
515観光の振興	8,851	8,204	27,618	18,039	19,750	19,535	734	102,731
合計	205,763	152,303	178,764	211,727	195,092	182,533	151,011	1,277,194

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	3,814円
-------------------------	--------

【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
511商業の振興	51,133	1,661	532
512工業の振興	18,599	1,059	223
513農業の振興	26,718	1,209	392
514勤労者対策の充実	71,330	6,277	713
515観光の振興	14,676	1,652	153
合計	182,456	11,858	2,013

◆各施策における主な成果

【商業の振興】

- ・産業まつりへの交付金や商工会補助金、商店街などに向けた各種補助事業を実施し、町内商業の振興及び地域の活性化に貢献。
- ・商工会などと連携した各種経営相談など経営の安定や合理化等に資する支援の充実。
- ・地域経済コンシェルジュの設置と企業訪問（H28年度より）
- ・エコノミックガーデニング推進事業に係る支援メニュー利用数（H27～H30年度：598件）。
- ・同販路拡大支援数（H27～H30年度：43件）。
- ・同創業支援数（H27～H30年度：129件）。
- ・同新規事業所届出数（H27～H30年度：228件）。
- ・連携金融機関への創業支援相談窓口の設置（H30年度）
- ・寒川町不動産業協会との「企業立地・創業相談ネットワーク」の構築（H30年度）。
- ・「エコノミックガーデニングポータルサイト」の作成・公開（H30年度）。

【工業の振興】

- ・町内に新規立地等する企業に対し、税の軽減や県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を実施。
- ・H28年度より、税制優遇の拡大、中小企業に対する融資利率の軽減などを実施し、既存企業の投資を促した。

【農業の振興】

- ・用水路の整備維持補修による水田への用水の安定供給の確保。
- ・各種イベントの開催による農業や農地に対するPR活動の実施。
- ・寒川農業振興地域整備計画の変更と農地パトロールの実施による農地の保全。

【勤労者対策の充実】

- ・各種補助事業やろうきんと連携した貸付事業による勤労者生活の安定化及び福祉の増進。
- ・団体との協力による労働講座の開催や福利厚生事業の開催。

【観光の振興】

- ・寒川駅前観光案内所を開設（H27年3月）。
- ・さがみ縦貫道路の開通に伴う寒川北インターチェンジへの案内板の設置。
- ・フィルムコミッション事業における問合せ件数、成約件数の増加。

## ◆各施策における主な課題

### 【商業の振興】

- ・事業計画支援や販路拡大支援に伴う PR レポート作成支援の希望企業の掘り起こし。
- ・創業相談件数の更なる増加。
- ・企業等が立地する広い場所の確保。
- ・各種セミナー等への町外からの参加。

### 【工業の振興】

- ・田端西地区のまちづくりに対応する企業立地支援策について検討。

### 【農業の振興】

- ・減少する担い手の確保と農業者の経営安定化、幹線農業用水路等生産基盤の老朽化。
- ・農業の魅力や農地の多面的機能の理解のための普及啓発。

### 【勤労者対策の充実】

- ・勤労者の福利厚生の実充にむけた新規事業の検討。
- ・町内企業へ求職を希望する若者の減少及び町内企業と高校または就職希望者のマッチングの対応（インターンシップ等）への検討・協力。

### 【観光の振興】

- ・寒川神社からの商店等や観光資源への誘導のための、案内方法等の検討。
- ・各種団体等の人員不足に対する観光推進体制の検討やイベント開催に係る方法の検討。

## 【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

### 【商業の振興】

### 【工業の振興】

- ・寒川エコノミックガーデニング推進協議会による、町内企業の課題解決に向けた企業ニーズにあった支援策の検討。
- ・魅力発信レポートについての町内大規模企業への周知、町内取引の増加に向けた取り組みのさらなる推進。
- ・「寒川エコノミックガーデニングポータルサイト」による連携機関の最新の支援情報や創業者・既存企業の成功事例等の周知活動をとおした「寒川エコノミックガーデニング」の認知度向上と取り組み効果のさらなる促進。
- ・「さむかわ次世代経営者勉強会」の立ち上げ及び自主運営化に向けた支援。
- ・中小企業等を中心とした事業承継（後継者不足）と廃業の防止支援。

### 【農業の振興】

- ・地域における家族経営農家の困難化（後継者の課題）への対応。
- ・他産業分野や福祉分野など多方面と連携した農業施策の推進に向けた検討。

### 【勤労者対策の充実】

- ・勤労者対策以外にも、定住促進等の副次的効果に関する検討（対象範囲の拡大等）。

### 【観光の振興】

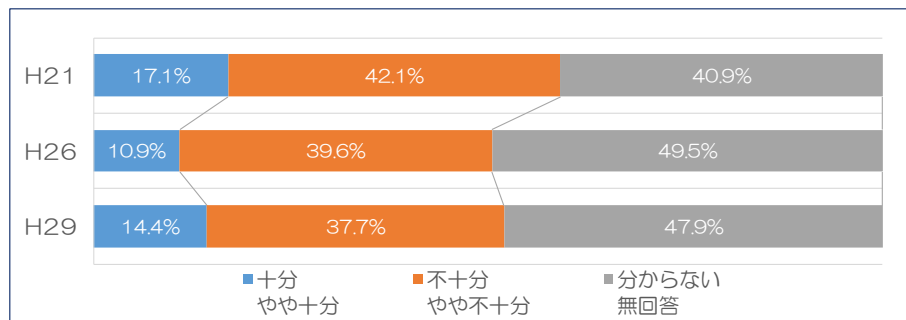
- ・町内で実施されるイベントへの新たな魅力・付加価値の創出
- ・観光協会と連携した魅力ある観光資源の発掘・磨き上げ。
- ・イベント以外にも町に関心を持ってもらえるような周知方法の検討。
- ・観光消費の拡大。

## 6. 後期基本計画推進のための基本姿勢

章	節	項
0 基本姿勢	0 基本姿勢	1 町民との協働によるまちづくりの推進
		2 広域行政によるまちづくり
		3 地方分権の推進と自律的な行財政運営

### (1) 基本姿勢【さむかわの行政運営】

#### ◆基本姿勢に対する町民満足度の状況



#### ◆基本姿勢への投入コスト（人件費、事務経費除く）

（単位：千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
001町民との協働によるまちづくりの推進	10,535	20,497	21,496	22,131	55,116	36,124	35,784	201,682
002広域行政によるまちづくり	662	618	671	60	60	60	60	2,191
003地方分権の推進と自律的な行財政運営	105,225	91,304	120,449	126,797	112,692	109,803	68,399	734,668
合計	116,422	112,418	142,616	148,988	167,867	145,986	104,243	938,540

投入コスト（平均） （町民ひとり当たり）	2,801円
-------------------------	--------

#### 【各施策におけるコスト比較】

（単位：千円）

施策名	事業費 (H24-H30平均)	町民満足度 (H29) 1%あたりコスト	施策指標 (H29) 1%あたりコスト
001町民との協働によるまちづくりの推進	28,812	1,937	/
002広域行政によるまちづくり	313	20	
003地方分権の推進と自律的な行財政運営	104,953	8,466	
合計	134,077	10,423	0

#### ◆各項目における主な成果

##### 【町民との協働によるまちづくりの推進】

- ・協働提案事業や市民討議会の実施。
- ・若者参画コミュニティ「まちびとすたいる」の設立及び活動のサポート
- ・幅広い行政情報を町民が様々な媒体で取得できる環境を整備（SNS、町議会の予算・決算特別委員会の模様をJ:COMチャンネル神奈川で放送、本庁舎1階ロビーにデジタルサイネージを設置）。
- ・eマーケティングリサーチ制度の実施（H29年度）

##### 【広域行政によるまちづくり】

- ・湘南広域都市行政協議会の設立（H23年度）と各取り組みの実施。
- ・「茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書」の策定（第1期：H25年度、第2期：R元年度）と各取り組みの実施。
- ・海老名市との連携による海老名駅－寒川駅間路線バスの運行（H29年度より本格運行）。
- ・広域連携による経費節減効果：約2億6,300万円（第6次行政改革プランの計画期間（H27年～H29年））。

##### 【地方分権の推進と自律的な行財政運営】

- ・広域行政によるパスポートセンターの共同設置（権限の委譲）。
- ・公の施設への指定管理者制度の導入（田端スポーツ公園：H28 年度、総合図書館：H29 年度、町民センター及び公民館：H29、パンプトラックさむかわ：H30 年度）
- ・人口ビジョン及び地方創生総合戦略の策定と各取り組みの推進（H28 年度）
- ・タウンセールス推進事業の実施と新たな町ブランド『「高座」のこころ。』の作成と各取り組みの展開（H29 年度）。
- ・外部評価をはじめとする各種行政評価の実施による効果的・効率的な行政施策の推進体制の確保。
- ・ふるさと納税制度を活用した歳入の確保。
- ・ストリートスポーツの世界大会「ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA」の開催による町の認知度向上（広告換算費：約 2 億円）。

#### ◆各項目における主な課題

##### 【町民との協働によるまちづくりの推進】

- ・町民のまちづくりに対する参加意欲の向上。
- ・町民参加型の町政運営を効果的に進めていくための町民等との情報の共有化及び魅力ある情報の発信
- ・e マーケティングリサーチ制度登録者数のさらなる確保
- ・移住定住促進に向けたターゲット層への定性等調査及び分析を行うための職員のスキルアップ

##### 【広域行政によるまちづくり】

- ・より効果的な情報発信（住民の実感として薄い状況にあると推測）
- ・新たな取り組みの構築と新たな連携先の模索

##### 【地方分権の推進と自律的な行財政運営】

- ・「高座」のこころ。ブランドに関する町民を巻き込んだ取り組み推進の構築
- ・ブランドに沿った統一感あるブランドコミュニケーションツールのさらなる拡充。
- ・公共施設総合管理計画及び同再編計画の策定により明らかとなった公共施設に関する諸課題への対応。
- ・町民ニーズに対応した行政サービスを提供するための町独自の創意工夫、地域の特性を活かしたまちづくりを提案できる人材（職員）の育成。

#### 【次期総合計画の策定に向けて検討すべき課題】

##### 【町民との協働によるまちづくりの推進】

- ・パブリックコメント制度の見直しと町民のまちづくりへの参加手法の検討。
- ・町民のニーズ、意向を把握するための継続的なデータ収集と蓄積。
- ・計画等所管課等を中心とした、正確なデータ等の全庁的な情報共有とまちづくりへの反映（体制構築）。
- ・新たな情報発信媒体の検討と町民等とのコミュニケーションによる情報発信の更なる推進。
- ・町民の主体的なまちづくりを支える小さな交流の場づくりと多世代交流の場づくり。

##### 【広域行政によるまちづくり】

- ・広域連携により効果が期待できる事業（取り組み）の抽出・具体化。
- ・共通の行政課題を持った他自治体との新たな広域連携体制の構築検討。

##### 【地方分権の推進と自律的な行財政運営】

- ・「高座」のこころ。実行委員会をはじめとした各取り組み主体の得意分野を活かした町独自の創意工夫、地域の特性を活かした取り組みの推進。
- ・町民との相互のコミュニケーションを軸とした事業構築と展開の推進。

- ・新たな考え方を取り入れた施策の検討（幸福学、行動経済学（nudge）、EBPM）
- ・「第6次寒川町行政改革プラン」で目指した取り組み目標のさらなる推進（能力開発研修の強化、組織の見直し）
- ・各行政計画の推進等を目的とした各審議会の在り方の見直し。



## 7. 6つの重点プロジェクトの実施状況

まちの将来像である「優しさと輝きと うるおいのあるまち 湘南さむかわ」の実現を目指して、後期基本計画では、重点的かつ積極的に取り組む施策として、6つの重点プロジェクトを位置付けています。ここでは、後期基本計画における各項目の取り組み内容をまとめています。

### 【6つの重点プロジェクトの体系】

1. 明日を担う子どもたちの健やかな育成事業名	
少人数学習や特別支援学級により教育環境を拡充します	
「地域のせんせい」をつくり、地域での絆づくり教育を進めます	
2. 安心して暮らせるまちづくり	
自主防災組織の強化、資機材の充実、防災協定を拡充します	
子ども見守り隊や防犯パトロールを促進します	
3. 地域の絆づくり	
新たな地域コミュニティをつくります	
地域主体による活性化事業を支援します	
まちづくり懇談会を開催します	
4. いきいきと暮らせるまちづくり	
世代間交流や高齢者の生涯学習を支援します	
食育計画をつくり、健康づくりを進めます	
5. 活力ある産業の育成	
都市計画道路宮山線の早期整備による産業の活性化	
産業チャレンジ応援プログラムの導入	
6. 豊かな自然の保全	
環境に配慮したまちづくりを全町的に進めます	
クリーンエネルギーを普及促進します	

### ※各事務事業の「有効性」について

各事務事業については、第1次から第3次の各次の実施計画に目標指標と共に位置付けられ、毎年度ごとに実施する事務事業評価によりその進行管理を行っています。各事業の「有効性」は事務事業評価時に指標の達成状況により評価されたもので、その事務事業の成果を表しています。なお、有効性の記載がないものは、その時点で実施計画上の位置づけがないもの、また、複数あるものは、複数の効果指標を設定しているものです。

### 【有効性の評価区分の例】

区分	効果指標の達成状況	活動指標の達成状況	分析内容
A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(活動指標)が合致しており、効果が出ている。
B		指標を未達成	・手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
C	指標の80%を達成していない	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
D		指標を未達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
F			その他特別な事情があるもの。
Z			未着手

## (1) 明日を担う子どもたちの健やかな育成

少子高齢化が一層進む中、子どもたちの笑顔は町の宝であり、その子どもたちを健やかに育てることは、大人たちの大きな責務です。そこで、子どもの学齢期に養うべき確かな学力や豊かな心、健やかな体を育むための教育環境を整えます。また、町の将来を担う子どもたちが、勉強以外にも、さまざまな「教育」の場面にふれることで、夢にあふれる将来を子どもたちが自ら考えられるよう「生きる力」を育みます。

事業名	担当部署	有効性						
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
少人数学習や特別支援学級により教育環境を拡充します								
特別支援教育推進事業	学校教育課	A	A(E)	A(B)	A	A	A	A
少人数学習推進事業	学校教育課	/	/	/	/	A	A(B)	A(B)
少人数学級実施事業	学校教育課	A	A	B	A	A	A	A
「地域のせんせい」をつくり、地域での絆づくり教育を進めます								
「地域のせんせい」ふれあい推進事業	学校教育課	A	A	A	A	B	A	A

### 【主な取り組み成果】

明日を担う子どもたちの健やかな育成に向けては、各年度において、対象学年における35人以下の学級編成（基準：40人編成）や小学校における算数等の授業への非常勤講師の配置を行ない、学習習熟度を高めることで、基礎力定着度確認問題の正答率は小中学校共に、着実な向上を見せています。

また、障がいのある児童生徒の学習環境については、特別支援学級に教職員を補助するための補助員を配置（直近のH30年度においては小学校で計7名、中学校で計6名配置）するなど、支援の拡充を図りました。

勉強以外の教育の場としては、児童・生徒に身近な地域に住み、豊かな経験と豊富な知識を持つ「地域のせんせい」とのふれあいの機会を創出しました。本事業の成果として、アンケートによる児童生徒の満足度（H30年度）は小学校で89%、中学校で86%と、高い水準を示しており、地域での絆づくりによる教育に向けて一定の成果を見せているものと考えます。

## (2) 安心して暮らせるまちづくり

過去に発生した大地震の教訓を生かして、地震や台風などの災害に強いまちづくりとして、地域の防災体制の強化を進めます。また、近年、悪質・凶悪化する犯罪にも対応し、特に地域の子どもの安全を確保するよう、地域における防犯体制を充実します。

事業名	担当部署	有効性						
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自主防災組織の強化、資機材の充実、防災協定を拡充します								
防災活動充実事業	町民安全課	E	E	E	E	B(E)	B(E)	B(E)
自主防災活動事業	町民安全課	B	B	B	B	B	B	B
防災資機材等充実事業	町民安全課	/	/	/	A	B	C	C
浸水対策事業	町民安全課	/	/	/	E	E	E	E
防災協定拡充事業	町民安全課	A	A	A	A	A	B	B
地震対策事業	町民安全課	A	F	F	/	/	/	/
子ども見守り隊や防犯パトロールを促進します								
防犯対策推進事業	町民安全課	B	E	B	A	A	A	A
児童防犯対策推進事業	学校教育課	C	C	C	C	C	C	C

### 【主な取り組み成果】

安心して暮らせるまちづくりに向けては、災害に備えた共助の取り組みとして、町内 22 自治会において組織されている自主防災組織の訓練指導等を通じて、防災に関する意識啓発と知識・技術の習得を進めてきました。その結果、自主防災活動事業の取り組み目標として、直近の平成 30 年度では、自主防災組織による訓練等の回数は目標に届かなかったものの、その成果である参加者数については目標値に近い人数の参加（計 1,796 人）を促すことが出来ました。一方、公助の取り組みとしては、企業等との防災協定締結に向けた取り組みを進め、平成 30 年度末までの実績として、累計 61 事業所との防災協定を締結し、有事の際の体制整備を進めてきました。しかしながら、課題として、各避難所における訓練実施等が上手く進んでおらず、また備蓄についても、計画に基づいた備蓄食料の購入を進めているものの、充足率としては目標に満たない状況であるなど、課題が多く残っています。

防犯対策については、小中学校への防犯カメラの設置、防犯パトロールや防犯講和の実施などにより、防犯対策推進事業の取り組み目標である「空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数」は直近の平成 30 年度では目標値 150 件に対し 91 件、また施策指標の一つである「刑法犯罪件数」についても目標値（H29）を達成し、順調な減少傾向を示しているなど、取り組み成果は表れていると言えます。一方、児童に対する防犯対策として、小学校児童への防犯ブザーの貸与に組み込み、貸与率としては 100%であるものの、高学年になると、その携帯所持率が低下（所持率 H27：69.2%、H28：66.6%）し、防犯上のリスクが高くなっていることが課題です。

### (3) 地域の絆づくり

地域のことは地域で決めるという新たな地方分権の時代に入り、より個性的で魅力あるまちづくりが求められています。地域の特徴に応じた、コミュニティの維持・形成、まちづくりを進めるとともに、町民と町が自治の担い手として、それぞれの役割と責任を果たしながら、連携、協働をしていくことが重要です。

事業名	担当部署	有効性						
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
新たな地域コミュニティをつくります								
さむかわ若者会議促進事業	協働文化推進課	/	/	/	/	A	B	A
地域コミュニティ組織設置促進事業	協働文化推進課	B	E	C	C	C	E	E
地域コミュニティセンター機能設置事業	協働文化推進課	A	E	E	F	F	A	A
地域主体による活性化事業を支援します								
地域担当職員推進事業	協働文化推進課	F	A	A	A	A	A	A
まちづくり懇談会を開催します								
まちづくり懇談会開催事業	協働文化推進課	C	A	A	C	C	B	B

### 【主な取り組み成果】

地域の絆づくりに向けて、平成 24 年度より地域と行政のパイプ役となる地域担当職員の配置を進めてきたほか、各年度において、地域別・テーマ別など様々な形態で、多様な属性の町民を対象にまちづくり懇談会を開催し、様々な地域課題の掘り起こしと解決を図ってきました。また、それらの課題を自発的に解決する地域コミュニティ組織の設置については未だ進んでいないものの、平成 29 年度には、町民活動団体等の活動支援を目的として、一之宮支所を開設しました。

また、寒川町における地方創生の取り組みの一環として、平成 28 年度に寒川町における若者参画コミュニティ「まちびとすたいる」の立ち上げを促し、その取り組みを支援することで、その事業展開をとおして、町内の若者同志の繋がり形成や意見集約などを行って

きました。

こうした取り組みにより、地域と行政の連携・協働の下地作りや、多様な世代・属性による町民同志の絆づくり、また世代間における将来に向けた絆づくりを進めることが出来たものと考えます。

#### (4) いきいきと暮らせるまちづくり

世代間の多様な価値観の違いや急速な核家族化が見られる中で、子どもと高齢者などのふれあいにより、絆を深め、心豊かに暮らせる社会を構築します。また、子どもをはじめ、すべての町民が心と身体の健康を確保し、生涯にわたっていきいきと暮らせる環境づくりを進めます。

事業名	担当部署	有効性							
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
世代間交流や高齢者の生涯学習を支援します									
生涯学習振興事業	協働文化推進課	B	B	B	B	B	B	B	B
社会教育振興事業	教育総務課				B	B	B	A	
公民館講座開催事業	教育総務課	C	C	A					
食育計画をつくり、健康づくりを進めます									
健康普及事業	健康・スポーツ課	B	A	A	A	B	B	A	
健康増進事業	健康・スポーツ課	B	B	B	A	F	F	A	
健康診査事業	保険年金課	A	A	A	A	A	A	B	
母子保健事業	子育て支援課	A	A	A	A	A	A	A	

#### 【主な取り組み成果】

いきいきと暮らせるまちづくりに向けて、町民の生涯学習、社会教育の機会拡充を図りました。このうち、生涯学習振興事業では、町民大学ほかのカリキュラム数を順次充実させ、平成30年度末実績として、178講座を用意し、17,656人の参加の参加を促しました。また、社会教育では参加者アンケートにおいて、93.1%と高い満足度を獲得するなど、町民の心豊かな暮らしに向けて、質・量ともに充実した内容を提供できたものと考えます。

また、町民の健康づくりに向けては、各種健康関連事業を実施し、町民の健康維持や生活習慣病予防への意識啓発、各種健診や健康教育・相談、保健指導を実施しました。このうち、食育については「さむかわ元気プラン」に食育計画を包含し、様々な世代にアプローチする取り組みを進めてきました。健康普及事業では、健康づくりや食育をテーマとする講座を年間68回（H30年度）開催し、目標を超える3,455人の参加を促しました。

こうした取り組みにより、様々な世代の町民が心と身体の健康を確保し、生き生きと暮らせる環境づくりを着実に進めることができたものと考えます。

#### (5) 活力ある産業の育成

活力ある産業の育成に必要な都市基盤として、広域的な道路ネットワークの整備を進めます。また、町内の熱意ある企業や商業者に対する総合的な産業支援、広域行政による民間との連携による新たな産業チャンスを創出します。

事業名	担当部署	有効性							
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
都市計画道路宮山線の早期整備による産業の活性化									
都市計画道路宮山線整備促進事業	道路課	A	A	A	C	C	C	C	
産業チャレンジ応援プログラムの導入									
商工業支援プログラム推進事業	産業振興課	A	A	A	A	A	A	A	
産官学連携推進事業	産業振興課	F	F	F					

### 【主な取り組み成果】

活力ある産業の育成に向けて、広域的な道路ネットワークとなる都市計画道路宮山線の整備については、神奈川県と連携を図りながら、これまでに路線測量や地質調査、詳細設計を実施しました。

産業振興においては、寒川町の地方創生の取り組みの一環として、平成28年度よりエコノミックガーデニング推進事業を展開しています。同年より設置した「地域経済コンシェルジュ」による企業訪問（H30年度：218回）、各種セミナーを重ねながら、中小企業を中心とした課題把握と解決に向けたきめ細かな支援を実施し、直近の平成30年度実績として、135件の支援メニュー利用数、15件の販路拡大支援数、42件の創業支援数、54件の新規事業所届出数に結びました。また、さらなる産業チャンスの創出に向けた官民連携による支援体制として、連携金融機関への創業支援相談窓口の設置、寒川町不動産業協会との「企業立地・創業相談ネットワーク」の構築、令和元年度に構築予定の「寒川エコノミックガーデニング推進協議会」に向けた準備等を行うなど、官民一体となった支援・連携体制を構築し、活力ある産業の育成に向け、着実な成果を上げています。

## (6) 豊かな自然の保全

都市化の進展により自然環境が減少しているなか、町の魅力である豊かな自然環境を、町民の共通の財産として次代に引き継いでいくために、環境共生型のまちづくりを進めます。

事業名	担当部署	有効性							
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
環境に配慮したまちづくりを全町的に進めます									
環境活動推進事業 (旧：環境基本計画推進事業)	環境課	C	A	A	B	B	B	A	
クリーンエネルギーを普及促進します									
地球温暖化防止対策推進事業	環境課				F	F	B	B	
クリーンエネルギー有効活用事業	環境課	A	A	A	B	B	B		
地域グリーンニューディール推進事業	健康・スポーツ課、教育総務課				A	A	A		

### 【主な取り組み成果】

豊かな自然の保全に向けて、環境基本計画に基づき、環境団体との協働等による環境活動や環境学習機会の提供を実施し、町民の環境意識の向上と環境活動の活性化を促進しました。この結果、直近の平成30年度実績として、環境教育・学習に係る事業の参加人数は547人、町と連携した環境活動団体の活動への参加者数は198人、また、町補助によるクリーンエネルギーや省エネ設備の導入件数（累計）は571件と、概ね目標を達成するほか、町民アンケート調査による環境共生に関する満足度も計画策定当初と比べて10ポイント以上向上するなど、環境共生の推進に向けて着実な成果が上がっていると考えます。

## V 振り返り結果を踏まえた次期総合計画策定に向けた方向性

### 1. 後期基本計画の振り返り結果の概要

#### (1) 各項目における振り返り

##### 【計画期間における目標指標の達成状況】

平成 26 年度時点では、全体の 79.3%の指標が目標の 8 割以上の進捗を見せています。しかしながら、平成 29 年度時点では、全体の 77.7%、平成 32 (令和 2) 年度見込みでは全体の 74.5% となっており、目標の 5 割に満たないものについても 4 指標存在します。このことから、施策の推進に従い、進捗度に若干の遅れが生じてきた状況が見て取れ、特にこの傾向が第 4 章の施策について顕著に表れています。これらの指標（施策）については、施策の方向性を見直しや構成事務事業の取捨選択等を行い、効果的な施策・事務事業の構築を行う必要があります。

##### 【町民アンケート調査結果による住民満足度の状況】

一方、住民満足度については、後期基本計画策定時と平成 29 年度調査（2 回目の定点観測）時とを比べると、「十分・やや十分」の割合が 4.4 ポイント上昇、「不十分・やや不十分」の割合が 1.2 ポイント減少、「わからない・無回答」の割合が 3.3 ポイント減少しており、総じて計画期間における住民満足度の上昇傾向が見られます。しかしながら、それぞれの割合を見ると、依然として、全体の満足度は低く、「わからない」という回答が多い状況です。このことから、今後の施策・事務事業の構築においては、町民の満足度を向上させるためのニーズ把握と、「わからない」の割合を下げるための行政情報の効果的な発信手法の検討が重要となります。

また、この「わからない」という階層には行政だけでなく、町自体（まちづくり）に対する無関心、参加意欲の低さを表しているとも言えます。そのため、今後は、これまで以上に町民の関心をまちづくりに集め、町民も巻き込んだ、町民主体のまちづくりを進めることが重要になります。

##### 【各施策における計画事業費の状況】

後期基本計画における事業費の推移としては、各次実施計画策定時に事務事業の統廃合と事務事業費・事務経費の組み換えを行っていることから単純比較はできないものの、傾向としては増加傾向にあります。

章ごとに見ると、近年の社会保障費の伸びを背景に、第 3 章「安心で生きがいのあるまちづくり」の占める割合が年々高まりを見せています。一方、第 1 章「快適でにぎわいのあるまちづくり」は減少傾向、第 2 章「環境と共生したうるおいのあるまちづくり」、第 4 章「豊かな心と文化を育むまちづくり」、第 5 章「魅力ある産業と活力のあるまちづくり」については横ばいの状況です。

限られた財源の中で、将来の寒川町を見据えた投資的な事業実施についても行ってきたところですが、目標指標及び住民満足度との関連性を見ると、第 1 章については、コスト投入量が減少している中で指標達成度としては横ばい、満足度としては上昇傾向にあります。

第 2 章については、コスト投入量が横ばい（やや増加傾向）にある中で、指標達成度としてはやや低下、一方満足度は上昇傾向にあります。行政施策以外の要因で満足度が上昇している可能性と施策指標、事業費、満足度の関連性とそれぞれの寄与度に見直しの余地があるものと思われる。

第 3 章については、コスト投入量の増加とともに、指標達成度、住民満足度ともに上昇が見られ、事業費の投入効果が表れているものと思われます。

第 4 章については、コスト投入量が横ばい（やや増加傾向）にあり、満足度については横ばい（やや上昇傾向）にありますが、指標達成度は低下傾向にあります。また、この章では、「わからない」の割合が最も多く、特に教育分野においては 50%を超える結果となっています。このことから、効果的な事業費配分とニーズ把握、取り組み内容の効果的な発信等が求められます。

第5章については、コスト投入量が横ばい（やや減少傾向）にあり、指標達成度も低下傾向にあります。満足度については増加傾向にあるものの、同時に「不満足」の割合も伸びており、町民のニーズをとらえた効果的な施策展開が求められます。

#### ※事業費と施策指標達成度、住民満足度の関連性

章	事業費の傾向	施策指標達成度の傾向	住民満足度の傾向
第1章	減少傾向	横ばい	上昇傾向
第2章	横ばい（やや上昇）	やや低下	上昇傾向
第3章	上昇傾向	上昇傾向	上昇傾向
第4章	横ばい（やや上昇）	低下傾向	横ばい（やや上昇）
第5章	横ばい	低下傾向	増加傾向

#### 【各施策における総合評価の状況】

各施策の総合評価結果については、全41施策中30施策（73.2%）で「評価区分○」、11施策（31.7%）で「評価区分△」となりました。一部進捗に課題のある施策もありますが、施策指標を含めた施策進捗度、住民満足度の状況も踏まえると、後期基本計画全体としては概ね順調に進んでいるものと考えられます。

## (2) 後期基本計画の振り返りにより明らかとなった課題

後期基本計画の振り返り作業によって、各施策に共通する課題として、次のことが明らかになりました。

### ① 社会経済環境への柔軟な対応

施策指標の達成状況においては、社会経済環境の変化や町の状況変化により、行政運営の基本単位となる施策の目標や施策目標に紐づく指標が適切とはいえないものも出てきました。そのため、そうした社会経済環境等の変化に対し、計画体系や施策の内容及び指標等について、柔軟な対応を可能とする体制を確保することが必要となります。

### ② 住民ニーズへの的確な対応

今回の振り返り作業において、平成29年度に実施した町民アンケート調査の結果、各章・施策ごとの差異はあるものの、最も多かった回答が「わからない」（31.4%）というものでした。また、満足度は後期基本計画期間において着実に上昇してはいるものの、全体としては、依然として「不満足」の方が多い状況です。

このうち、町民の満足度向上に向けては、的確な町民ニーズの把握とニーズに基づいた施策・事務事業の構築と実施が必要となります。そのためにも、マーケティング手法の活用など、町民の満足度・ニーズを的確に把握するための手法の確立が課題となります。

### ③ 町民のまちづくりに対する関心

上述のとおり、町民アンケート調査の結果、最も多かった「分からない」という回答は、町民の寒川町（まちづくり）に対する無関心を表しているものとも言えます。一方、無関心であるということは、大きな不満が無いことを表しているとも考えられます。そのため、その無関心層をいかにしてまちづくりに参画させ、満足度を上げていくかが、今後の課題となります。そのためには、まず町民の町（まちづくり）への関心を高めるために、幸福学の考え方なども参考に、積極的にまちづくりに巻き込んでいく手法の検討が必要となります。

#### ④ 行政運営における優先度

各施策における計画事業費の状況から、施策目標と施策に紐づく事務事業の関連性（寄与度）に基づいた見直しが必要であることが明らかとなりました。この一因として、各施策において重点的に取り組むべき事業、つまり、各施策の中での事務事業の優先度が明らかになっておらず、施策内において並列的（総花的）に事務事業が推進されていることが、その一因として考えられます。そのため、施策体系の見直しは勿論のこと、各施策における重点項目の明確化と施策内における事務事業の優先度設定等が必要であると考えます。



## 2. 次期総合計画策定に向けて

寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」後期基本計画は平成 32 年度（令和 2 年度）をもって計画期間が終了となるため、今後の寒川町の行政運営を計画的かつ継続的に進めていくためには、次期の総合計画の策定が不可欠です。

また、次期総合計画の策定に向けては、寒川町を取り巻く社会的な課題として、少子高齢化の更なる進行、公共施設の更新・財源確保問題、複雑化・多様化する住民ニーズへの対応など、様々な行政課題への対応も求められています。

一方、町の魅力や独自性をさらに打ち出していくためには、社会的なトレンドになりつつある「持続可能な開発目標（SDGs）」や町の新たなブランド『『高座』のこころ。』などを次期総合計画の基本的な考え方として取り入れることが、そのきっかけとなりうると考えます。

本振り返り作業をとおして明らかになった、これまでの施策展開における諸課題（各施策ごとの課題、各施策に共通する課題）については、次期総合計画策定の作業スキームにおいて、それぞれの課題に対応する段階で適宜解決を図っていきます。

そのうえで、本振り返り作業から明らかとなった各施策に共通する課題については、次のことに留意しながら策定作業を行っていきます。

課題	留意すべき事項（対応策）
①社会経済環境への柔軟な対応	社会経済環境の変化に応じて柔軟に見直しのできる計画
②住民ニーズへの的確な対応	住民の満足度が向上する計画
③町民のまちづくりに対する関心	町民との協働による計画
④行政運営における優先度	選択と集中、メリハリが効いた優先度が明確な計画

### (1) 社会経済環境の変化に応じて柔軟に見直しのできる計画

社会経済環境等の変化に PDCA サイクルを適切に回しながら柔軟に対応するとともに、効率的・効果的な計画体系に再構築します。

### (2) 住民の満足度が向上する計画

町の将来のためにまちづくりを「じぶんごと」と捉えて行動に移すことができるよう、住民が町の将来のために「やりたい」事業等を盛り込むとともに、幸福学の考え方を取り入れることで、住民満足度の向上に寄与する計画とします。

### (3) 町民との協働による計画

自治基本条例の理念である町民と町との協働の考え方のもとに、町民一人ひとりが寒川町に対する誇りと愛着、また、自治の担い手としての責任を持つことができるよう、計画の策定段階から、より多くの町民が参画出来るよう努め、町民と町が連携した計画づくりを進めていくこととします。

### (4) 選択と集中、メリハリが効いた優先度が明確な計画

人口減少、少子高齢化の進行等、町政を取り巻く社会環境が大きく変化する一方で、住民ニーズや公共施設の更新等をはじめとする行政課題が多様化・複雑化していることから、限られた行政資源を最大限に活用し、メリハリのある行政運営ができる計画とします。

## VI 参考資料

### ◇計画期間における一般会計実績額

#### ◆一般会計歳入額

(単位：百万円)

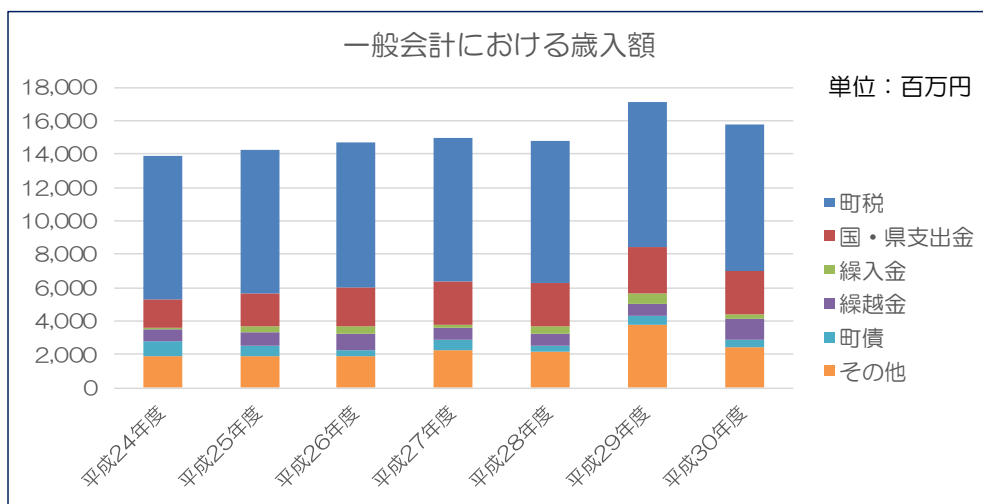
第1次実施計画	科目	24年度		25年度		26年度		第1次実施計画合計	
		計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額
	町税	8,222	8,585	8,098	8,558	8,127	8,712	24,447	25,855
	国・県支出金	1,675	1,767	1,795	1,932	1,853	2,276	5,323	5,975
	繰入金	410	46	490	385	400	463	1,300	894
	繰越金	280	768	280	863	280	960	840	2,591
	町債	709	842	569	608	792	422	2,070	1,872
	その他	1,567	1,911	1,574	1,868	1,587	1,856	4,728	5,635
	合計	12,863	13,920	12,806	14,214	13,039	14,688	38,708	42,822

第2次実施計画	科目	27年度		28年度		29年度		第2次実施計画合計	
		計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額
	町税	8,464	8,574	8,365	8,520	8,323	8,674	25,152	25,768
	国・県支出金	2,464	2,628	2,230	2,617	2,344	2,766	7,038	8,011
	繰入金	101	123	319	445	269	658	689	1,225
	繰越金	280	756	280	694	280	745	840	2,195
	町債	371	598	417	411	1,262	514	2,050	1,522
	その他	2,066	2,271	2,034	2,130	2,005	3,765	6,105	8,167
	合計	13,746	14,949	13,645	14,816	14,483	17,123	41,874	46,888

第3次実施計画	科目	30年度		31年度		32年度		第2次実施計画合計	
		計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額
	町税	8,300	8,707	8,400		8,237		24,937	8,707
	国・県支出金	2,527	2,614	2,837		2,907		8,271	2,614
	繰入金	281	340	161		200		642	340
	繰越金	280	1,234	280		280		840	1,234
	町債	172	451	349		1,999		2,520	451
	その他	2,042	2,401	2,177		2,390		6,609	2,401
	合計	13,602	15,748	14,204		16,013		43,819	15,748



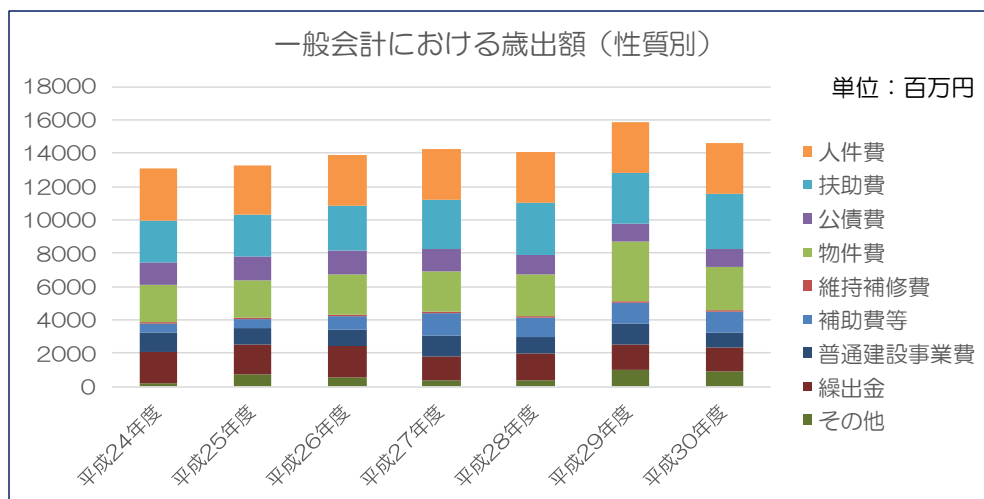
◆一般会計歳出額

(単位：百万円)

科目	平成24年度		平成25年度		平成26年度		第1次実施計画合計		
	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	
経常的経費	9,864	9,844	9,774	9,778	9,720	10,534	29,358	30,156	
経費 義務的	人件費	3,112	3,082	3,116	2,977	3,190	3,068	9,418	9,127
	扶助費	2,442	2,495	2,345	2,508	2,324	2,733	7,111	7,736
	公債費	1,363	1,349	1,387	1,400	1,338	1,404	4,088	4,154
その他	物件費	2,527	2,287	2,419	2,224	2,423	2,418	7,369	6,929
	維持補修費	34	71	38	74	38	89	110	234
	補助費等	386	560	469	595	407	822	1,262	1,976
投資的経費	952	1,127	1,018	976	1,326	974	3,296	3,077	
普通建設事業費	952	1,127	1,018	976	1,326	974	3,296	3,077	
その他	2,047	2,086	2,014	2,499	1,993	2,425	6,054	7,010	
繰出金	1,855	1,887	1,872	1,744	1,851	1,895	5,578	5,526	
積立金等	192	199	142	755	142	530	476	1,484	
合計	12,863	13,057	12,806	13,254	13,039	13,932	38,708	40,243	

科目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		第2次実施計画合計		
	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	
経常的経費	11,235	11,188	10,500	11,113	10,417	12,078	32,152	34,379	
経費 義務的	人件費	3,154	3,087	3,198	3,061	3,166	3,084	9,518	9,232
	扶助費	2,810	2,906	2,820	3,115	2,855	3,057	8,485	9,079
	公債費	1,362	1,344	1,209	1,171	1,131	1,057	3,702	3,572
その他	物件費	2,480	2,450	2,516	2,464	2,500	3,555	7,496	8,469
	維持補修費	31	76	28	90	29	95	88	260
	補助費等	1,398	1,325	729	1,212	736	1,230	2,863	3,767
投資的経費	960	1,236	945	1,005	1,873	1,298	3,778	3,539	
普通建設事業費	960	1,236	945	1,005	1,873	1,298	3,778	3,539	
その他	1,551	1,831	2,200	1,953	2,193	2,512	5,944	6,296	
繰出金	1,381	1,463	1,981	1,552	1,981	1,487	5,343	4,502	
積立金等	170	368	219	401	219	1,026	608	1,794	
合計	13,746	14,256	13,645	14,071	14,483	15,888	41,874	44,215	

科目	平成30年度		平成31年度(令和元年度)		平成32年度(令和2年度)		第3次実施計画合計		
	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	
経常的経費	11,535	11,398	12,143		12,825		36,503		
経費 義務的	人件費	3,150	3,097	3,177		3,163		9,490	
	扶助費	3,315	3,240	3,546		3,690		10,551	
	公債費	1,066	1,061	1,103		1,114		3,283	
その他	物件費	2,646	2,606	2,796		2,818		8,260	
	維持補修費	47	137	30		30		107	
	補助費等	1,311	1,256	1,491		2,010		4,812	
投資的経費	497	859	402		1,433		2,332		
普通建設事業費	497	859	402		1,433		2,332		
その他	1,570	2,369	1,659		1,755		4,984		
繰出金	1,417	1,456	1,506		1,602		4,525		
積立金等	153	914	153		153		459		
合計	13,602	14,626	14,204		16,013		43,819		



◆性質別予算ごとの実績額

